

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(96)、(129)」

2. 日時：令和2年11月18日(水) 10時00分～12時43分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者(※：TV会議システムによる出席)

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、海田安全審査専門職、菅谷技術調査官、松末技術参与

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員
中川原子力土建部長 他11名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造 (コメント回答)
- ・浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造 (コメント回答)
- 補足説明資料
- ・浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造 (コメント回答) データ集
- ・浜岡原子力発電所 新規制基準適合性審査 指摘事項リスト

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	規制庁の菅谷ですおはようございます。これからでございますがでございます。浜岡発電所の敷地の地質構造のコメント回答のヒアリングのほうを開示したいと思えます。
0:00:17	よろしく願います。
0:00:19	。
0:00:20	よろしく願います。
0:00:22	中部電力アマンでございます。本日はヒアリング設定いただきありがとうございます。浜岡原子力発電所の敷地の地質地質構造のコメント回答として、前回7月3日の場合871回審査会合でご議論いただきまして、御指摘事項についてコメント回答をさせて作成し
0:00:42	参りました。本日資料はお手元にコメント回答の資料と補足説明資料とデータ集で指摘事項リストの四つ、四つを送付させていただいておりますのでこれらについてご説明をさせていただきたいと思えます。
0:01:01	1回目のヒアリングなどでちょっと少々時間いただきました55分程度、御説明をさせていただきたいと思えますのでよろしく願います。
0:01:11	。
0:01:13	中部電力の森本です。おはようございます。それでは資料のほうを御説明させていただきます。本日の資料ですが、右肩の番号は一番教え192からから94-3分冊になっておりまして、一番市営192万本編資料になります。
0:01:31	こちら御説明させていただきます。
0:01:34	まず1ページをご覧ください。回答させていただくコメントの一覧でございます。
0:01:41	メインのものが85
0:01:44	になりまして、再物質の微細構造や組成も含めた位置が早期の分布形態性状について、表形式で横並びに示して、
0:01:54	どの断層でも最新
0:01:56	活動時期、
0:01:58	の評価が同一になることを示すこと。
0:02:01	これを本編資料で回答していますので、まずこちらの内容から説明させていただきます。
0:02:07	御説明大半はこちらのほうの説明になります。
0:02:11	また86番のイトウ、債物の高度が周辺母岩に比べ低いことの考察
0:02:18	これの記載の充実、充実についても本店のほうで対応しておりますのでまた後で該当ページを御説明します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:26	発番 88 番は補足説明資料で個別に回答しておりますので、
0:02:31	後程説明します。まず 85 番への回答ですが、このコメントのポイント二つあったかと思えます。
0:02:39	まず微細構造含めしっかり調査結果整理することということと続いてそれらを使って 1 断層の活動時期の評価の同一性をしっかり示すこと。
0:02:49	今回この回答資料の構成を少し見直しております。
0:02:54	それが 300tをお願いいたします。
0:03:05	すみません。続きます 3 ページ、評価の全体構成を示しております。左側の方向性、右側、それらの送電述べている結論締結ダイジェストになっておりまして、1 ポツから 3 ポツの部分を一章から 3 章のところは、
0:03:21	敷地でいた先を活動性評価対象とするということを説明しております。この部分については前回会合で概ねオオツとしていただいたかと思えますので、この部分は変更ございません。
0:03:32	これを表彰 4 ポツの部分と関連するスライド以外はスライドに関してはですね資料から省略という形にさせていただいております。省略範囲については、前の 2 ページに目次で数字にしております。
0:03:49	また 3 ページに戻りますが、4 発、一番その検知設計の活動性評価の部分、ここの構成を若干変えております。従来は 4. 一章の分布形態、4 点以上の性状 4.3 章の深部構造
0:04:06	これらの章でね、調査結果とともに、例えばですね H 断層系は相良層が未固結から半固結の時代にできたらですとか、浅部には連続しないと、また我々の評価の部分まで書いておりましたが、
0:04:20	ちょっと向性複雑になってきましたので、4. 一章から 4.3 章については基本的に調査結果のみを記載する形とさせていただいております。
0:04:30	この中でコメントのポイントが一つであるしっかり調査結果を整理するところをやっております。その上で、この調査結果を使って 4.4 章で評価をやっておりますこの中で活動時期が同一だということを合理的に説明できるように見直しております。
0:04:49	この 4.4 章の中ではコメント回答の活動伸ばそう時期が同じだということに加えてですね。
0:04:57	そっちへ震源断層ではないと、これも述べてますので、こちらについても後程説明いたします。
0:05:05	この流れをですね視覚的に示したものが 16 ページのほうにございます。こっから資料の中身のほうで御説明させていただきます。
0:05:17	16 ページ左上の緑箱、まずは A4. 一章から 4.3 章で分布形態性状深部構造

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:26	これらの調査結果を、まず伯東データとして示しています。
0:05:30	その三つ矢印が出てるかと思いますが、その先 4.4 章でコメント回答として、まず上の二つの矢印の先、この緑の箱の
0:05:42	右下の部分にあります、一番想定各断層の活動時期はすべて同じだということを書いていてその下、いつ給電評価に繋がると考えているという流れです。
0:05:55	このスライドの方にですね震源として考慮する活断層ではないということを書いています、これはまた別ルートで説明しますので、ちょっとこちらのほうは置いておいて、まずは活動時期が同一だというコメント回答のところから説明します。
0:06:12	ことでまずこの左上の緑箱の 4. 一章から 4.3 章で分布形態制度深部構造、これらの調査結果から順番に御説明します。
0:06:24	まず 4 ページ。
0:06:25	分布形態の調査結果を示しております。
0:06:30	18 ページに概要をまとめています。この小エーツ調査としてはですね特段追加したものは、
0:06:38	ございます。
0:06:39	上の箱の(1)ボーリング露頭とさやって移転先の分布形態を推定した。
0:06:47	だから(2)海についての分布を音波探査で調べたというものです。
0:06:54	19 ページ、まず露頭ごめんなさいボーリング、露頭の調査結果になりますが、
0:07:03	ちょっと自体で 26 ページ振り返りになりますが、
0:07:08	26 ページからですね鍵層了解がのを三次元的な分布を求めまして、そこに生じる落差から断層位置を推定しているというものです。
0:07:19	その結果が例えばですね 44 というページとかご覧いただきますと、断面図を示しています。
0:07:30	東西走向南傾斜で同じぐらいの落差を持つ正断層が等間隔で分布しているのが確認できています。
0:07:38	次の 43 ページには重要施設の位置関係を平面図で示しております。
0:07:44	いつ簡潔で変わりはありませんが、今回記載の充実ということで、上の箱書きのところをいちいちから位置が断層及びHmだから 1m4 断層の直上に重要施設がありますというところを突い場所として追加しています。
0:08:01	日本 4 ページのまとめにも一番下の箱書き一番下の丸になりますがその一部を反映しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:09	こういった平面図等を求めて、ただあの会議については、この取水トンネルとの位置関係はここで把握してありますが、もう少し平面的に見てみようということで45ページからはⅢとやって
0:08:24	平面分布を調べております。
0:08:28	これも前回会合から変更ありませんが、
0:08:31	あと、御説明しますと47ページ、まず改定地形調査結果です。
0:08:38	断層構造が侵食と考えられる構造が見られて、
0:08:43	CAPEについて見ていただくと。
0:08:46	先ほどご説明したボーリング調査結果とも思えば対応しているというものです。
0:08:51	次50ページからは海上音波探査、
0:08:54	になりまして、反射断面を52ページから示しております。
0:09:00	日ここは早めに表層部の乱れがありますが大きいとなくなっていくと。
0:09:05	今までそういった化学組成の結果を58ページのほうでまとめています。
0:09:11	A測線図の青い部分では全部反射面に乱れがありますが起き得てってことですね、緑のところ、そういった乱れがなくなるようなところになってくる。
0:09:21	いうものです。
0:09:24	以上の分布形態についての調査結果を59ページにまとめております。
0:09:31	この文書に出ますが、次の60ページに平面分布、農変わったものをするものを示しております、その次61ページには、
0:09:40	その落差断層間隔走向傾斜を視覚的に各断層横並びで示しております。
0:09:50	各断層の落差走向傾斜断層勧告は概ね一致しているというものでございます。
0:09:57	次またあの調査かかりまして62ページ一案想定 of 性状についての調査結果です。この方がですコメント踏まえましてデータの拡充を行っております。
0:10:10	63ページに概要を示しておりますが、上の箱の直上に重要施設が位置するA1から171m0から税務M4、いわゆる三条断層と上載地層を有するH系断層を対象として、性状に関する調査を実施したと。
0:10:30	有効です。
0:10:31	従来から前段の層でこの(1)のところ露頭コアの観察結果を示していますが、これに加えて(2)ブロック試料薄片Aすなわち微細構造の観察結果になりますが、こちらは今まで一番断層しか示しておりませんでした。今回何層で結果を示しております。
0:10:52	(3)不良分析ですが、今回位置付けをしっかりと整理してです。一部データの追加も行っております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:01	中に入ってきて 64 ページからまず露頭ボーリングコアの観察結果になります。
0:11:09	66 ページからまず陸域へいちいち断層から順番に露頭観察結果を載せております。
0:11:17	会議については 85 ページ。
0:11:21	からになります、
0:11:25	当然露頭でボーリングコアの観察結果を示しております。
0:11:30	ずっとすべての断層載せております。すべて従来示していた露頭コアになりますが、観察記録としてですね新たな観点での基準を追加しておりますので、ちょっとその説明をさせていただきます。
0:11:43	例えばちょっと戻っていただきますが 67 ページ。
0:11:48	お願いします。
0:11:51	H断層思いまして箱書きのところ、
0:11:55	2 条の平行な断層面が認められ、断層面には幅数mmの細物質サービスというのは周辺母岩に比べなしの黒色等を我々そう呼んでいるわけですがそれでもそれが認められる断層面周辺のコアには流動的な変形構造が認められる一方で隔離できるような破碎部がない。
0:12:14	変形構造から正断層センスとわかるんでこの外浜ちゃんと固結していると。
0:12:20	断層明白に移したほうがないようねっており平面的ではないっています。ここまでの部分は一部表現の適正化したりですね記載の充実を図っておりますが、今まで御説明してきた内容です。
0:12:33	5 ポツ目に新たな観点が含まれておりまして、再ベースが単一の層、
0:12:40	であって、採泥物質中に複数の層からなる層状構造がない。
0:12:44	てます。
0:12:45	これは新たに追加してます。
0:12:48	同じ物の中で、これ以上の合併がないとか、明瞭なせん断面がない、これ従来から行ってますけれども層状構造というものない、これもちゃんと確認していないようですので、新たに文書として追加しております。これはすべての断層で確認してます。
0:13:05	それから各露頭ですね記事のほうには書いてますが、断層面の 7 のところ我々整理物質と呼んでおります。その辺り定量的にお示しできる露頭については、次の 68 ページ。
0:13:19	のように針貫入試験を実施しております。
0:13:23	断層面を横断するように測定名設けまして、その面の中の泥岩砂岩層より物質の針貫入勾配の平均値をグラフで示した。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:33	いうものです。
0:13:35	阪手が固結してます火砕物物質はそれらに比べて軟質だということを定量的に確認しています。
0:13:43	測定値ですとか、測定結果の詳細はデータ集に入れておりますのでまた御参照いただければと思います。
0:13:51	こういった線すべての断層の観察結果を 90 ページ 91 ページにマトリクスですべてまとめております。90 ページにくい、露頭の観察結果、91 ページが海域ボーリングコアの観察結果になります。
0:14:11	追加になっただろうと思うのはありませんが、この一覧表で赤字で記載した内容を針貫入の一波とあと層状構造がないという新しい観点、これは今回追加したというものです。
0:14:27	続いて 12 ページにさせていただきます。今ですねコメント 85 の回答をしているんですけども、露頭調査に関連するコメントとして、次の 86 番。
0:14:42	細部の高度化周辺母岩に比べて低いことの考察、それをこれの記載の充実を図りなさいというコメントに対する回答スライドをここに 2 枚。
0:14:53	コメントに対しての
0:14:56	異動ですが、Point3 ポツ目になりまして、細粒化ベースのコードが周辺ごとに比べて低い理由としては、①として一番想定形成時にそれまでの個別の告示されなかったこと、それから②として、その押さえれ物質の
0:15:12	そういう効果が十分する前に探そうの隆起速度の上部層の削剥により上載圧が減少したこと。
0:15:20	③として、周辺母岩の脱水固化に伴う加入規制の影響の可能性というのを考えております。
0:15:28	そうなりますので次の 93 ページのスライドで、③の管理汽水の影響について少しもう少し、厚めに述べてますけど、3 ページいただきますと、まず 1 ポツ、
0:15:43	それから総和は退席を探そう排水 0 とした圧密によって脱水固化が進んだと考えられます。
0:15:51	2 ポツに比べ裁量物質は透水性は粒度分布から見ても低いわけですけども、
0:15:58	1 断層系が形成された際に、短期的に探そうから破砕物質に限って言えば供給されたと考えています。3 ポツ、その他に記載はされる物質中に滞留し排水されにくい。
0:16:11	状態だったので、周辺に比べて脱水効果が進み方可能性があるというふうに考えております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:18	このコメントがまたこういった形で従来の後ろから少し深掘りしたものを超えているというものでございます。
0:16:27	またコメント 15 番のほうの回答のほうに戻りまして、次 94 ページをお願いします。
0:16:34	ところからブロック試料、薄片の観察結果です。
0:16:38	備考の観察結果でして、こちら、今まで一連の断層しか示しておりませんでした。今回三条断層それからF9 断層すべての結果を示しております。
0:16:51	代表例で御説明しますが、101 ページをお願いします。
0:17:02	市来さんさ、断層になります。
0:17:05	断層面付近のブロック試料とCT画像をまず示してます。
0:17:10	断層面周辺母岩に角礫状の破碎部はないということと抑えるベースはあいつの層で層状構造がない、これ以上の観点もない明瞭なせん断面もないということで、露頭でないというものは詳細に観察してもないということを書いてます。
0:17:26	にCT画像では断層に対応すると考えられる構造が周囲と密度の異なる領域として認められております。
0:17:34	これからつくった薄片を薄片の観察結果を次の 102 ページに示してます。
0:17:41	右下に箱書きでございますが、
0:17:44	周辺母岩に角礫状の破碎部はない。
0:17:49	ということと、その一方で、破碎や変形を受けてない稼ぎというのも見られるところもあるものですので、
0:17:57	周辺防護からファイリングしてカジノてくちやわ漸移的に変化しておりまして両者の境界は不明瞭一部の町会は認定するなんていうものです。
0:18:09	協会はワークするの動画なり、動的な変形を示します。
0:18:12	大丈夫です。そうそうですが、母岩の砂と泥が混合が混合した予想示す会津の層でありまして、層状構造はありますね。やっぱり議長の断片もない。明瞭なせん断面もないというものです。
0:18:26	される物質っていうのはサグチに見られるような大きな砂粒子は認められてその粒子に顕著な細粒化へ確認されない。
0:18:34	いうものでございます。
0:18:36	103 ページは前のページの拡大図を載せてます。
0:18:41	こういったブロック試料、それからそこからつくった薄片の観察結果はセットにして男女の外へ救急搬送すべての結果を示しております。
0:18:51	それをまとめたものがまずブロック試料は 144 ページにございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:02	144 ページで表の赤字が前回からというか資料を追加した資料、それから観点。
0:19:08	という
0:19:10	ものです。
0:19:12	次 145 ページが薄片認めです。
0:19:19	同じく表の赤字が前回から追加した資料判定になります。
0:19:24	追加した観点としてはそうそうがどうだとか、堅調な現場がどうだとか、左右物質と母岩の強化が不明瞭であって、こういったところになります。基本的にはすべての断層で同じような性状を確認しております。
0:19:39	この中で、流動的な変形構造のところ表で言いますと右から三番目と 4 番目の列になりますが、
0:19:47	同断層でも僕本当の火砕物の境界付近に弯曲凹凸といった何かしらの延性変形の形跡を確認しておりますが、別になさに関してそういった構造は 4 月中にはありませんでした。
0:20:01	この辺の考え方後程整理しております。とりあえず事実としてこういう観察結果であったというものです。以上がブロック薄片で確認した微細構造の観察結果というので。
0:20:14	146 ページ、ここまで露頭コアの観察結果とロックのブロックと薄片の観察結果をまとめてます。
0:20:23	右の表に断層面の形状が平面的ではないだとか、サービスに層状構造がない、そうそうが砂と泥の今後だ。
0:20:31	こういった観察結果を観察したスケールで色分けして示しております。
0:20:37	表の下の側に
0:20:40	観察期間の 1 から④と示しておりますが、こういったのに、それから顕微鏡で確認したどちらかという定性的なものに関しては、
0:20:50	このスライドマスターの緑箱の部分になりますが、
0:20:56	技術においてより詳細に確認してます。
0:20:59	定量的な検討また別の観点での検討が可能と考えられる項目については試料分析測定をやってさらに詳細な確認を行ったという位置付けで、
0:21:12	次を後ろ向きに入っていくという流れです。
0:21:16	まさに詳細検討する監査計画ということで①④①から④を書いてますが、こちら後程説明します。
0:21:25	ということで 147 ページから次、調査変わって試料分析測定結果です。
0:21:33	148 ページに試料分析の項目とその目的を書いております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:40	分析項目は左下の表に上から 2Pd※aクマガエ言った分析砂粒子の分析、隻構造解析帯磁率硬度をやってもらってます。
0:21:54	分析項目の追加というのはありませんが、確認した断層が一部の分析で増えておりました、2 列目に追加分を赤字で書いております。
0:22:04	3 列目に目的として、それぞれの調査の位置付けを記載してます。ここでさっきの御説明しますと言っていた観察結果観察結果の①から④というのが出てくるんですけども、詳細は上の箱書きに同じものが書いてあります。
0:22:19	日再利用別室に層状構造や角礫状の盤ペン明瞭なせん断面はない②裁量物質は砂と泥が混合した様相示す③裁量物質は、
0:22:32	三中に同じく、同じような大きな砂粒子があつて、Miyoshiに顕著な細粒化今はない。
0:22:40	④。
0:22:42	大丈夫ですかと僕は、
0:22:43	ごめんなさい。簿から裁量物性かけてのチェック等は一部を除いて、漸移的に変わっていて両者の境界は不明瞭
0:22:51	こういった観察結果を分析なので、定量的に多角的に確認するというのが、試料分析全体としての目的です。
0:23:00	この見ると、右下の表、1 番目、Maだと搭乗構造同じ境界が不明瞭だとしていたものが目視、
0:23:12	建物が分水元素分析幻想分布においても同じことが言えているのかという目で見ております。
0:23:20	ソースタームの二つXRD粒度分析だと砂と泥の今後といったものが、鉱物組成だったり、粒度分布の観点からも同じことが言えているのか。
0:23:31	シナリオの分析だと顕著な細粒化MRIとして行ったものが定量的にも本当にそう言うのか。
0:23:37	こういった観点で代表的な断層を分析したという位置付けです。
0:23:43	その下、石油しそれから帯磁率硬度については観察結果とは直接的にはリンクしてませんが、正常の一つとして代表的な断層で調査したというものでございます。
0:23:56	個別の分析からご説明していきます。149 ページにまずEPMAを載せてます。
0:24:03	原則見ても、肉眼顕微鏡で観察した結果と同じように見えてまして、変な構造はないと、層状構造などもないという結果です。
0:24:14	140 ページシリカの部分になりますが、次のページから
0:24:19	断層ごとに、ほかの
0:24:21	リースの分布をお示しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:24	より操作の家族がデータ集のほうにも載せております。
0:24:29	次 100 よ 54 ページからエックス線回折分析、XRDを載せております。
0:24:36	表中の赤字は追加実施したものでして、今回は三条断層と愛知県そうすべの結果を載せても載せております。
0:24:45	結果が従来と同じですけれども、この際別の鉱物組成というのは、5 番の相良層と変わりはなくて、そのあとの今後していた観察結果鉱物組成の観点からも確認できたというものです。
0:24:59	意見このXRDに関しては前回までの資料に不備がありまして、それについて、155 ページの一番下に記載をしております。
0:25:11	米印の部分になりますが、
0:25:14	内容ですね前々回の会合で説明いたしましたH断層系の分布見直しによりましてダブルA1 孔というボーリングで1 断層の深度の見直しを行っていたしました。
0:25:28	その関係で、その方向で採取した従来Pd抑える物質として分析していったW1の上で、グルーピングしたというサンプルがあるんですけれども、
0:25:40	見直しによって、一時断層で亡くなってしまった。
0:25:44	違うし、断層H断層として新たに選定し直したということで、今回はそのサンプルについては小断層ファイル後の歳入物質
0:25:56	分析結果としてですね示しております。
0:26:00	そうチームでは 155 ページの一番下に、それから層の量がありますけれども、その一つ上の量がそれに該当いたします。
0:26:11	本来であれば、前々回の一番底の部分見直しの際に、この変更やっておかなくてはいけなかったんですが、班員が漏れておりましたので今回修正させていただきます。今度は失礼いたしました。
0:26:25	また分析計格好に戻らせていただきます。156 ページ。
0:26:30	こちら粒度分析です。
0:26:32	今回参考として、相良層の泥岩砂岩の流動化積極性を右下のほうに追加しております。最良別の曲線は泥岩砂岩のOSと中間に位置しております、粒度分布の観点からも、そのところの混合だといえるというものです。
0:26:49	なおかつされる予備数、
0:26:51	というのは、細粒化室と呼んではいますが、細部の割合が顕著に行われるということもありませんので、
0:26:59	その早々というのは、顕著な細粒化がないということも示していることがわかったというものです。
0:27:07	次 157 ページ砂粒子の分析結果です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:12	砂の粒径トップとエンジンを見てやると最大粒径としては、再利用物っていうの砂粒子は朝晩値の粒子でも、いわゆる自治体単位になってもらってますが、
0:27:26	次の 158 ページに同じ粒子の円までを見ると、
0:27:30	サウンドでごめんなさい。細部人様で同じような形をしております、破碎を受けて細くなった粒子はなくて、検証に耐える変えました粒子がないと。
0:27:42	ということがわかります。
0:27:43	ということで目視の観察結果も定量的に確認されたというものです。
0:27:49	次 106 ページは隻粒子の表面構造になりますが、確認した断層では同じ形に全部分類されますというところと、
0:27:57	162 ページ帯磁率硬度、これは同じような値が出たというものでございます。
0:28:08	こういった資料面積の結果を 166 ページにまとめております。
0:28:15	今回追加した断層はあるものの、分析項目だとか、得られた結果に変わりはありません。それぞれの分析の位置付けをしっかり整理してきたというのが変更点です。
0:28:27	167 ページは時断層系の性状についてまとめてます。
0:28:33	路頭薄片の観察へとこれがベースになってますんでこれは全部の断層でやっています。
0:28:39	これを定量的多角的に確認するという位置付けでEPMAどの分析を代表的な断層でありました。
0:28:46	結構表現でまとめているというものでございます。
0:28:52	以上が正常についてです。
0:28:54	次 169 ページから調査結果の最後の小児の深部構造についてです。170 ページに概要を示してます。
0:29:07	三つ目としては前回から変わってません。(1)地下構造調査(2)大深度ボーリングの孔壁調査(3)深部の鍵層断層の観察ということで、これ前回までは、この章で一番総計深部まで連続しないという評価までやってたところがあったんですが、
0:29:27	今回の調査結果を客観的な事実のみ記載するにとどめております。その関係でいく表現の見直しというのがありますが、基本的には前回から大きい変更というの、
0:29:38	ありません。
0:29:39	うん。
0:29:41	ざっと中身ご説明します。172 ページ、まず地下構造調査です。
0:29:47	175 ページに反射断面、
0:29:50	これは 1 例ですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:53	めくってまして。箱書きの 2 ポツ目。
0:29:56	浅部 7 斜面比較的多くて、H断層系の特徴に一致した不連続面があるとそれに対して 3 ポツチームの反射面は連続性がよくて、連続性のいいので、浅部のH断層系のような形態の断層群というのがなくて、深部から延びてくるような
0:30:14	断層もない。
0:30:16	ところいきます。
0:30:18	179 ページも今日反射面のところ実績どうなのかと
0:30:24	コメントいただいた回答したのですが、砂岩比率の高い相良層がちゃんと指摘も確認できるというものです。
0:30:33	次の 82 ページ。
0:30:39	大振幅ボーリングの液位を見てやって、
0:30:43	18%方向へどう変化するかを調べてます。これも前回と同じですが、
0:30:50	一方比 89 ページ。
0:30:54	お願いします。
0:30:56	を定めに地層の走向の変化を重ねたものですが、
0:31:00	調査者メール浅く分で地層の向きが変わって行って、この部分は後方回転しているというものです。
0:31:07	それを責めてみたものを 191 ページに示してます。
0:31:14	大局的な機器向斜の構造に対して、赤で囲った範囲、それから深度で地層が異なる方向向いているのを拝見しているというもので、一番最近の分布とも概ね対応しているというものです。
0:31:31	続いて 193 ページ、浅部の階層断層の
0:31:37	ボーリングコアの観察結果になります。
0:31:41	104 ページ、まずか自走凝灰岩層ですが、深部では経営合計 6K7 という理想が確認できておりまして、
0:31:52	次のページ 195 ページに、
0:31:55	それを断面で示すと。
0:31:57	深部ではボーリングを変位量がないということを確認しています。
0:32:01	このスライドの最後の箱書きのところは前回から少し表現を見直しております。
0:32:08	今のオオツ断層系へ大きい落差を有する断層としては深部まで連続しないと書いてます。ただ、前回で介護でのコメントと後段の震源断層の評価も意識してですね。
0:32:23	浅部と同様な規模形態を有する断層としては、深部まで分布しないと、今回、トリガ見直しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:36	人 101 ページをご覧いただきたいんですがあの後からやっている。
0:32:44	深部の断層の観察結果についても同様でございまして、例えば
0:32:51	°C205 ページ。
0:32:54	はい。
0:32:56	浅部に見られるのですが、もともとこういった深部の断層、H断層系と同性状の断層ではないとタニっておりましたが、
0:33:04	こちらも全部見られるH断層系と同じかどうかという観点で整理していて、それには該当しませんという説明に修正してます。
0:33:14	比率の浅部構造については以上でして、211 ページがそのまとめになります。
0:33:25	ここまで 4. 一章から 4.3 章で全部携帯政治の深部構造の調査結果を御説明しましたが、次の 112 ページから
0:33:37	また小学校ありまして、4.4 章になります、ここへ来から品川関連の説明に移っていきます。
0:33:46	箱書きに(1)(2)とありますが、この章では大きく二つの評価をやってます。
0:33:51	まず(1)駅のそれが震源として考慮する活断層か否か、(2)として、H断層系の活動に反する評価ということで、この(2)のほうで各断層の最新活動時期の評価が同じかどうかというところをやっていけコメント回答としては、まず(2)が該当しますので、
0:34:09	まずこちらのほうから説明します。
0:34:12	資料は 218 ページまで飛んでください。
0:34:20	津浪めくっていただいてすみません 219 ページ。
0:34:24	それから始まりましてコメントコメント回答要旨を載せてます。
0:34:30	構成ですが、下の箱に書いてますが、まず①として、茅ヶ崎の形成についての検討をやってます。どういうメカニズムでできたのかいつできるのかをここで検討してます。②として、平成 5 の
0:34:45	活動について検討してますできた後に仮に動くとしたらどう動くのかと、そもそも癒性が動いているのか、こういった観点で見えます。
0:34:55	形成以前に話すと形成後の話つうステップで説明を組み立てております。
0:35:02	221 ページにまず形成時の話から見ます。
0:35:08	イズにページ
0:35:12	形成機構のどういうメカニズムでできたのかというところで、これ従来から説明している内容になります。
0:35:21	まず 223 ページに先ほどまで御説明してきた分布形態深部構造の調査結果から、こういった評価ができますという、我々の評価を書いています。
0:35:33	下の箱がそれに該当しますが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:36	分布形態の類似性があるというところ。
0:35:39	それから地層の後方空気を伴っている部分と範囲が限られていたというものです。
0:35:44	次に 124 ページには、この性状の調査結果からは正常にも類似性が認められるという評価がしております。
0:35:55	その次の 125 ページでこれらの調査結果に基づく評価を踏まえますと、一番先はこういうメカニズムでできたんだという、我々の考えを下回っ箱に書いております。
0:36:09	基本的に前回から言ってる内容を一部見直しなどしているものですが、
0:36:16	地道な作業形態に
0:36:18	正常類似性が認められるとともにを等間隔に併走し、ほぼ同数多動落差を持つ正断層群であり、ちょっと後方回転している。また分配特徴的であり、広域応力場はH断層系選挙する応力と調和的ではない。
0:36:35	以上より、1 遊びは局所的に生じた引っ張り力により、現場の断層から 6 の後方回転を伴いすべての断層がいっぱいとして活動して形成された断層群であると考えられる。
0:36:49	疑問を一体として形成されたものですということであります。
0:36:56	この子力の話もしてますので次の 226 ページに前回資料の再掲で広域応力場の閾値の応力場こうですよという話を載せてます。
0:37:10	こういう弊社の調査に基づく評価があった上で、次 227 ページ、
0:37:19	それではその教科書なんか見てやると、H断層系とよく似た形態を持つ断層群は、
0:37:25	富山個別と呼ばれてまして、
0:37:28	次に 128 ページで、その特徴についての点けも紐解いてやると同時に回転を発動するとされておりました、調査に基づいて、一番それでは一旦できたと評価した内容とも合致しているというものでございます。
0:37:44	230 ページにここまでで一旦まとめてます。形成機構、メカニズムとしては、一体として経験されたものと考えている。
0:37:53	いうものでございます。
0:37:55	次に 132 ページからまたちょっと話がありまして、形成時のことですが、
0:38:03	どういった時代にS1 断層系が形成されたのかというのを検討してます。
0:38:10	232 ページに、
0:38:12	1 断層が形成された時期と相良層はプレスした時期の関係をまず見てやるということで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:20	頑張っ活動した断層の性状がどういったものを既往知見から整理をしております。
0:38:28	真ん中の箱書き、村田教科書ですけども、
0:38:33	がん末で動いた断層というのは平滑な断層名角礫状の観点菜園空き室そういったキーワードが出てきます。
0:38:41	技術として、後期更新世以降活動した岩盤中の断層の観察事例を示してますが、僕の家種母岩の種類、それから断層線に関係なくて、
0:38:53	町で僕と断層面は平面的角礫状の破碎部在留された起伏からなる断層ガウジのがあって、明瞭なせんな構造が見えるというのを確認してます。
0:39:05	それから断層ガウジ、
0:39:07	断層ガウジされ、断層ガウジ同士、または、
0:39:12	時とそれに隣接する層の境界は明瞭に観察されるとこういった特徴が見られます。
0:39:20	こういう名前と一番下の箱書きになりますが、岩盤において活動した断層というのは、ここに書いているAからE、
0:39:28	平滑の断層面とか角礫状の破碎もこういった性状が見られるというふうになります。
0:39:36	次の 235 ページで、そういった目で先ほど御説明したH断層規模性状の調査結果見てやると。
0:39:44	上の水色の入った表で整理してありますが、代表してありますが、
0:39:50	断層面をうねっていて平面的ではないし、確率論の元本破碎部もない。
0:39:54	微細構造といった観点では、
0:39:57	三番中国等を再利用分。
0:40:01	ガウジだったりせん断構造が明瞭だったり、
0:40:06	了解が明瞭に見えたりするんですが、一応そういう経験を支える支点がそういうものではなくて、構造もないと。
0:40:14	ということで、岩盤において活動した断層みられる特徴はありません。
0:40:18	なおかつこのときに使った性状というのはすべての断層で、理事。
0:40:23	この試算表で言うと例えば手話通っているというものでございます。
0:40:30	234 ページからは露頭で次の 235 ページにブロック 236 に薄片すべて段差が類似してますというのをスケッチだとか写真とともに詰めしているというものです。
0:40:48	236 ページ、箱書きの下の米印のところになりますが、先ほど違った薄片からは流動的な変形構造が見られませんでしたと少し紹介しましたが、他の性状

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	の類似状況を踏まえれば、タニ観察者の関係で変形構造がないだけであって優位性を指定するものではないと。
0:41:06	いう考え方をここに記載してます。
0:41:10	一般の高い箇所すべて似ておりまして、なおかつ岩盤中の断層とは違うというものでございます。
0:41:25	で、237 ページですが、
0:41:31	干ばつの断層とは違うけれどももH断層付近にってる断層の活動時期はどういうふうに整理されているのかというのをこちらの文献から見てます。
0:41:41	ロウデン簿価に流動的な変形構造があるだとか断層の平面的ではない。薄片で見ると、粒子の混合だったり、不明瞭な境界があるというのが特徴だったりするわけですけども、
0:41:54	こういった特徴を持つ断層というのは、地層が未固結から半固結の時代に形成されたものというふうに
0:42:03	事業としてはされているというものです。
0:42:06	238 ページに以上を踏まえた検討結果をまとめてます。上の箱を一つ目の丸1 上りのいずれの断層にも岩盤において活動した断層に見られる性状というのはなくてもツイッター赤く性状はすべての断層間で類似してますよと詰め
0:42:25	一番先に類似した性状を示す断層は既存のケーブルは比較的低い未固結から半固結の時代に形成されたものとされておりまして。
0:42:35	これを踏まえて一番下の箱、H断層系はいずれのいずれも、
0:42:40	収まる即日とか単位同定同時委員形成された断層で江坂層が固結するマルマエの地層紙効率から半固結の時代に形成された断層であるというふうに考えております。
0:42:54	239 ページ。
0:42:56	は前回資料の再掲になりますが、ちなみにということで、相良層よりは掛川層部の固結していることを踏まえると少なくとも 200 万年前にはえさガラスは固結
0:43:08	行った。
0:43:09	を考えてますというスライドです。
0:43:13	約 40 分にいった形成時の話をまとめてます。メカニズムの話統一できたのかという話をしましたが、
0:43:21	メカニズムとして一体でできたというところと大阪層が未固結半固結の時代にできたというところを書いてます。
0:43:31	こちらに関しては前回最後で説明した内容と概ね一緒の内容かなというふうに考えています。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:40	次へ 241 ページから、この形成後の話をします。
0:43:48	まずページ。
0:43:50	先ほどいっぱい出てきたことを説明していただいて、断層が仮に次動くとしたらどう動くのか、これもメカニズムのお話をしています。
0:44:00	次の 203 ページになりますが、参考にした月として、どういう法律のインバージョンテクニクスになりますが、この引張場で同時にできたみんな法律というのは、応力場から圧縮に転じてもひとたび国債はやはり同時に逆断層として動く。
0:44:17	されております倫理的にもそうでし数値解析でも実験でも再現をされております。
0:44:24	次の 244 ページに 1 断層系に照らすとどうかという整理を上の方でしています。
0:44:31	どういう法律のインバージョンに関しては、形成時からアポ。応力場というのは変わっておりますが、一番早計なに関しては応力場の変化というのはありません。
0:44:42	その表の下になりますが、H断層系の一部を動かすような他の構造の終局だとか火山だとか、そういったものも、
0:44:52	ということ踏まえると、
0:44:54	海の法律というの／応力場は変わっても再び御記載は同時に動くんだから、
0:45:00	応力場が終わってすらいな一段一段想定も再び御国債は同時だったのは一体で動くというふう考えられます。
0:45:10	その下の箱書きになりますが、1 断層系の形態的特徴としておりますが、形態として同じ傾斜同じ落差を持って、今、観察されている仮に訂正後に一番断層個別に動いてたとしたら、
0:45:26	新たに県との差異が生じてくるというのは容易に想像できますが、そういった差異もないと。
0:45:32	ということで、
0:45:34	先ほどのインバージョンから考えたことを形態的特徴を踏まえると、
0:45:41	市南それではケース置いて活動する際も、
0:45:47	すべての断層が一体として活動する断層群であって、形成を一文挟み個別には活動していないというふう考えております。
0:45:56	を探した緑色の箱になりますが、ただ形成後の活動についてはもう少ししっかり見てみようということで微細構造も含めた調査結果をもとにさらに検討を次で壊れています。
0:46:09	それが 245 ページからになります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:12	ここではそもそもH断層系が形成後に動いているのかと。
0:46:17	いう検討をしています。
0:46:20	検討方針書いてますが、先ほどご説明した通り、H断層系の形成時期というのは相良層がやわらかい的と考えておりますが、これが再び活動していた場合、各種調査において、それぞれ下の箱書きに書いてるような結果が得られるというふうに考えております。
0:46:40	終わりのほうですが、文献だったら活断層または地すべり断層として記述されてくるでしょうし、月では変動地形、地すべり地形として判読される。
0:46:50	考えられます。
0:46:52	露頭では直上の4期層に変位変形を与える可能性がありますし、
0:46:57	4回でできたといったものが動くんで、岩盤において活動した断層見られる性状も出てくる可能性がある。
0:47:07	そもそも複数回活動する断層に特徴的な構造というのがありますので、そういった構造も出てくるだろうと。
0:47:16	た上で、これらがH断層系の調査結果に表れているのかというのを潰していきます。
0:47:24	で、146ページから個別につぶしてきますが、まず文献には活断層地すべりの記載というのはいないものです。
0:47:32	247ページ。
0:47:34	地形にも出てきていないという地形調査結果です。
0:47:39	248ページは4紀層にも当然変位変形はありません。
0:47:45	249ページは、これ先ほどご説明しましたが、岩盤がにおいて活動した断層見られる性状というのはいないというものです。
0:47:55	次150ページ、
0:47:58	複数回活動した断層に見られる性状というのがあるのかという観点のスライドです。
0:48:04	上の箱書きではそもそも複数回動く断層どういう性状があるのかという整理をしています。
0:48:10	秋山ほかの山断層、それからCへとMmん野島断層、こういった繰り返し動いて実績のある断層の事例見ていくという中に層状構造を5層状の構造に言われておりますがそういった構造が見られて、
0:48:25	その構造が断層活動と関連しているとされてます。
0:48:30	時-Aが時破砕物が後日に見られる事例もファイア含めあるということで、
0:48:37	こういった構造を、
0:48:40	クリーム色の箱で響いと整理してますがこの二つは構造が

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:44	一番底質層へ作用物の中に入るのかという観点で調査結果を見てます。
0:48:51	一番下の表がそれを確認した結果ですが、再物質は単相で層状構造はありませんし、角礫状の関係ありません。ですので複数回活動した断層が見られる性状なくて、その性状も全断層で類似してると。
0:49:08	同じ結果を見られないということを全部がそれ確認しているというもので、
0:49:16	250 ページにこの結果をまとめてます。
0:49:21	形成後に活動するのかという観点で再活動していた場合に想定されるありとあらゆる痕跡を探しましたが、下の表に示すようにいずれの断層でもないということから、真ん中の青箱、いずれの断層形成後の活動はないはずがないというふうに考えてます。
0:49:44	次に 152 ページ。
0:49:49	形成後の話のまとめということで形成後に、仮に動くとしたらどう動くのか、メカニズムの話と、そもそも動いているのかというところをまとめてます。
0:50:02	形成後個別に置くような断層群ではないという、その上に個々の断層見ても形成動いた形跡はないかな。
0:50:11	ことで、
0:50:13	それが動いてないというふうに評価をしております。
0:50:21	次に 153 ページ、ここまで御説明した形成時の話と形成後の話をまとめたものです。
0:50:29	上の箱づける政治の話下から相場観効率から半固結の時代に一体としてというものをその下の箱が形成後ですね、個別には動かないし、ここを見ても動いた形跡がない活動はないと。
0:50:46	いうものです。
0:50:48	以上を踏まえて、一番下の十八番 1 断層系は相良層が未固結から半固結の時代に一体として形成された断層群で形成後においても、個別にパスで活動しておらず、
0:51:01	断層の形成異常何層も活動していないと考えられますので、これ断層の活動時期はすべて同じ時代であるものと評価をしております。
0:51:11	これがなくなりましたコメント 85 円の回答になりまして、なので、上載地層は I 級でやりますという流れになっております。コメント 80 を回答としては少しボリュームがありますが調査結果をどうデータ拡充も含めてですねしっかりやってきたというところと、
0:51:28	評価として形成時形成後の話に分けた上でどういった観点で評価するのか、その他の断層ということなんかも使ってより明確に示したというのが今回取り組んだ内容になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:40	あと、ごめんなさい。少しだけ説明を続けさせていただきます。
0:51:46	本店のですね、113 ページ、こちらのコメント回答ではありませんが、
0:51:52	市南そっちが震源として考慮する活断層か否かの評価を今回新たに追加して ますとボリュームとしてはそれほどあるものではないです。
0:52:02	115 ページ。
0:52:06	になりますが、深部の地質構造を、
0:52:11	分けた地下構造調査孔壁調査コア観察、これは踏まえると、1 断層系は浅部 と同程度以上の規模で深部に連続していくものではないと。
0:52:22	考えられます。
0:52:24	次 215 ページ変動地形や文献重力異常にもH断層系と同傾向のものは出て きませんし、次の 116 ページ
0:52:34	広域応力を一番それ予兆を見逃されるっていうのができればないというところ で 217 ページにまとめておりますが、A箱書きの一番下の段落一段組織は震 源として考慮する活断層じゃないと。
0:52:49	いうふうに評価をして評価しております。今回この評価についても資料として 追加して明文化したというものです。
0:52:59	本件に関しての変更箇所は以上です。途中ですねまとめ部分だとか評価のフ ローが入ってますが当然その部分については変更に合わせて見直してます。
0:53:11	資料としては、
0:53:14	ということで 4 章の後ですね 256 ページから形成要因の話をしてそのあとペー ジと 282 ページから 19 断層の上載地層評価をやってますが、こちらについて は前回前々回から変更はありませんので、説明としては割愛させて、
0:53:32	いただきます。
0:53:34	最後の補足説明資料だけを少し簡単に見ていく残ってますので、説明させて いただきます。
0:53:43	右肩番号が 1-CL-193 になります。1 ページに今回ベントリストを載せてま す。87/88 が未回答で残ってたかと思います。
0:53:57	まず 87 番ですが、4 ページ、補足説明資料の 4 ページをお願いします。
0:54:06	文献の引用に対して飲用利用も含め適切に整理することということで回答要 旨ストアに載せてますがまず一つ目、度目の交通に関する事例について、文 献においてのみのホルスト整理されているものと、
0:54:21	度目ホットはされてないけれども、形態的特徴が類似しているものをちゃんと 区別して整理して行って、資料化したと。
0:54:31	いうものです。具体的にはですねのみのフォールトされているものが 8 ペ ージ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:41	ここに移るまま文献の中でもみんな法律とあと整理されていて、次の 9 ページに、
0:54:50	どんな法律と文献中で、
0:54:54	言われているわけではないんだけども経済が歩きしているものをこちらのほうに整理したと。
0:54:59	いうものをですね 9 ページは三紀実地盤における都民の類似した南類似した事例ということで、MRIについて引用をしております。
0:55:10	その文案についてですが、次の 11 ページからの内容になりますが、
0:55:18	前回言いました際にですね 12 ページをご覧くださいと。
0:55:25	この 12 ページの赤字の部分、1 分余計なこと書いてますので、それは今回削除して、
0:55:31	13 ページのような形に修正しました。これもコメント回答という位置付けで修正をしております。
0:55:39	以上がコメント 87 を踏まえた修正です。
0:55:44	最後 15 ページ、次のコメント、
0:55:50	88 番ですが、
0:55:54	大臣のボーリングの柱状図でH断層系と関連するような地方答えの記載のある断層について事業者の解釈を示すようにという御指摘でした。
0:56:08	対象断層は、16 ページに示しております断面図上に丸で入った 2 ヶ所、
0:56:15	です。
0:56:18	17 ページと 18 ページで、
0:56:21	それぞれレポートも、
0:56:23	一番早期稼働する以上の断層には該当しないと。
0:56:27	いう弊社としての解釈を示しております。
0:56:33	こちらの回答は以上です。
0:56:36	これ以上になります。あと仏非常勤になります。あと、20 ページから
0:56:44	露頭観察結果、基本的にオオツ切れなかったものを載せてます。
0:56:50	そのあと 36 ページからは、引用文献の概要ということで、H断層系の形成時期を検討するにあたって対比させた断層の事例を
0:57:02	1 文献プライドいつも 2 枚使って整理しております。
0:57:09	御説明資料、以上です。本日提出させていただいた、もう一つの資料データ集のほうは、本編に示しております針貫入離隔試験特権をEPMAそれから幾多あるDBの詳細結果を載せたものでございます。
0:57:26	すいませんちょっと長くなりましたけれども、本日の資料の説明は以上になります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:14	はい。規制庁の菅谷です。ありがとうございました。
0:58:17	最初に全体的な構成とかの話に関してちょっと確認をさせていただきます。
0:58:30	本体資料の
0:58:33	規制庁菅谷ですけれども本体資料の1ページ2ページをちょっと
0:58:38	見ながら、ちょっと確認なんですけれども、
0:58:43	まずコメントが1ページのほうに書いてあります。
0:58:48	目次が2ページと、
0:58:54	イトウ
0:58:55	2ページのほうで廃炉になっているページは変更がなかったり、すでにもう
0:59:00	いろいろ回答済みのところもあるのでそこは省略してきましたということでした。
0:59:07	で、4点。
0:59:09	1から4.3は、ファクトだけ結果だけにして、4.4っていうのをふやすてそこに評価を示しまとめました。
0:59:22	震源として考慮する活断層かどうかっていうのも4.4-1(2)書きました。
0:59:28	前回までですね、4.6っていう上載地層による活動性評価っていうのは、まだそこまで話がいかないのので、所廃炉、
0:59:40	にして、資料には載ってない状態でしたけれども今回はこれを加えてきましたと。
0:59:46	この4.6に関しては前回っていうか以前示したのから変わりが無いっていうそういう理解でいいですか。
0:59:57	電力モリ井本です。はい、すべてそれがおっしゃる通りです。
1:00:07	規制庁スガヤです。
1:00:09	はい。
1:00:10	あと補足説明資料があつてと2ページの右側のほうに資料構成書いてありますけれども、1ポツ2ポツはコメント回答の87番と88番に関する内容で、
1:00:25	3ポツは、本資料本体資料に載せ切れなかった露頭観察結果を載せています。
1:00:33	4ポツは文献の
1:00:35	概要
1:00:37	ね。
1:00:38	あとデータ集っていうのは今回ある。
1:00:49	あと1ページなんですけれども、すみませんコメント概要のところ整理してくださっていて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:55	7月の15日にラップアップさせていただきましたけれども、ちょっとそのときに、こちらから言ったなんていうんでしょう。
1:01:06	確認したことがちょっと反映し切れてないかなというところの記述がちょっと気になるところがあるんですけども85番。
1:01:16	の
1:01:17	最後のところ、
1:01:19	どの断層でも最新活動時期の評価が同一となることを示すってなってるんですけどもこれ確かにラップアップのときに、ラップアップのときにはですねどの断層でも後期更新世における活動性は同一の評価となることを示すっていう
1:01:35	所もともとあって、それが今回
1:01:38	どの断層でも最新活動時期の評価が同一となることを示す。
1:01:44	っていうふうにして変わった修正してくださったと思うんですけども、
1:01:49	これはどの断層でも最新活動時期の評価が同一になることを示す。
1:01:55	ことっていうのは御社が主張したいことだと思うんですけども、
1:02:01	我々としてはこれどの断層でも
1:02:04	評価の代表になるんだっていうことが
1:02:09	示せないんじゃないかなっていうことで前回コメントしているので、だからこれとちょっと
1:02:14	うん等がちょっと違うかなと思ったんです。
1:02:27	中部電力の森本です。
1:02:31	この際、最後の湾フリーズに関しては、
1:02:34	ちょっと終わってドップラピンときに、
1:02:40	そういう
1:02:42	お越しでご指摘いただいたかなと。
1:02:45	をもってこういう成分にしてるんですがちょっと確認なんですけれども、スガヤさんが今おっしゃったのはちょっと踏み込んで書き過ぎじゃないかという理解でしょうか。
1:03:09	金融庁菅谷です。そうですねこれ
1:03:15	こういう書き方だと私たちがこれをもう認めているのでっていうようなことに聞こえちゃうから、そうじゃないんですよっていう
1:03:23	そういうことなんです。
1:03:31	森本です。
1:03:35	認めていると例えば85番がいいよという御回答いただいたときに、
1:03:45	これ、これをコメントだといいよと言いつらいということですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:57	電力アマノ別
1:03:59	条件的なことが書いてないからですかね後段では地球で今回活動性を評価する。
1:04:07	Lava
1:04:09	どの断層でも同一であるっていうのを示しなさいというそういう条件があって書くということなんですかねちょっとラップアップのとき最後、こういう形と
1:04:22	合意したふうにできてなかったの、我々としてはこういう書き方で理解をしていたんですが、
1:04:32	ニュアンスが違うのであれば修正いたしますが、どういうところを記載すればよいかちょっと具体的にいう非ていただかないとまた同じようなこと、繰り返しになってしまいますので、
1:04:50	はい。規制庁の菅井です。はい。そうですね。
1:04:55	こちらが言ったのはですね、
1:05:00	まず横並びに示してくださいってところまではいいと思うんですけども、そのあとですよねその特徴を比較分析して、
1:05:08	どの断層でも、
1:05:10	評価の代表となりうるっていうことを
1:05:14	ちゃんと、そのエビデンス横並びしたものを使って示してください。
1:05:21	っていう趣旨
1:05:55	はい。
1:05:58	中部、
1:06:01	中部電力の今井です。
1:06:03	もう趣旨はこういうことかなと理解しましてどの断層でも最新活動時期の評価がどれがポイントになることを規制庁が求めているので、そういう示しなさいというふうに読めちゃうっていうことかと思しますので、今ご指摘ありますように、どの断層でも最新活動時の評価が同一となるということについて、
1:06:21	エビデンスを持ってその妥当性を示すこと。そのような趣旨で十分すればいいのかなと思いますでしょうか。
1:06:31	あのね、規制庁ナイトウですけども、同一となることにしたいのはあなたたちの主張であって、我々はそんなことを求めていないそれは理解してますか、まず、
1:06:46	中部電力今井です。同一かどうかというよりもどの断層でも活動性評価の代表となるようにということを規制庁としては求めている、そういう理解でよかったんでしょうか。だから、そういう
1:07:00	自分たちの解釈に近づき回答しやすいように、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:05	コメント内容変えないでください。我々が求めたのは、地形を地形という複数本あると断層を
1:07:15	評価するにあたって、どの断層でも活動時期をすべてのやつを代表できるんだってということについてきちんと説明してくださいと。
1:07:25	介護でも言ってるし、ラップアップで見ていると思いますよね、介護では特に、それが説明できないんだったら一步一步評価ってください。ねっとまで言ってますよね。
1:07:39	我々、同一であることを説明してくださいなんて一言も言ってないですよ。
1:07:44	活動時期が、
1:07:45	地形というのは複数本を敷地内やつでも、今給付。
1:07:51	一目で気泡あるけど、ほかのやつを見る限りにおいて海域も含めてもつとっぱいそうですねという話があるわけですよ。
1:07:58	それらの代表を
1:07:59	それらの活動時期をやるにあたって、どの断層でも地形という複数本あるやつを評価を可最新活動時期を評価ができるんだってということについての
1:08:10	代表性を説明してください。
1:08:22	中部電力の森本です。ご趣旨は理解いたしましたと
1:08:27	武藤断層でも代表できるので
1:08:32	19断層でやりますという、
1:08:36	流れになるのかなと思いますのでここは、
1:08:41	同断層でも、
1:08:43	妥当性評価。
1:08:46	代表できるというコメントにまた注がついてですね中身のほうも少し
1:08:53	最後の結論のところの辺りの修文かなと思いますけれども、修正させていただきます。
1:09:48	。
1:09:49	規制庁サグチですけども、ちょっと今のコメントを踏まえてですね、趣旨ご理解いただいたと思いますんで、
1:09:57	コメントNo.85については、ちょっと修文をお願いしたいと思います以上です。
1:10:10	中部電力招致いたしました。
1:10:13	。
1:10:24	規制庁の菅谷です。
1:10:26	ちょっともう少し全体的な話でもう1回から続き確認してきますけど。
1:10:31	データ集のところでも3ポツでエックス線回折分析結果ってあるんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:37	これは、
1:10:40	これは、
1:10:41	40
1:10:47	これ生データをそのピークですよ。それを全部載せてくれたのがデータ集。
1:10:54	ですかね。
1:11:01	中部電力大南です。そうですねチャートをそのまま載せているという形になっております。
1:11:09	はい、わかりました。そしたらですねデータ集のところに、今、50 ページからずっと出してくださってると思うんですけども、今一応W25 上って書いてあるんです
1:11:23	多分これ、
1:11:24	断層の名前で言うと、
1:11:26	H1 幾つになるのかっていうのもちょっとあわせて書いておいていただけるとありがたいんですけども、
1:11:34	了解。
1:11:37	中部電力大南です。了解いたしまして本編のほうで一覧で記載されてる名前としてちゃんとリンクできるように記載しておきます。
1:11:48	お願いします。
1:12:01	規制庁世界ですじゃあ本体の 5 ページお願いします。
1:12:09	ここで
1:12:11	前回の審査会合からの主な追加修正っていうのを整理してくださっています。
1:12:17	ここで主な追加調査っていうのが右側のほうに書いてあって、CTとEPMAと針貫入とかって書いてあったんですけども、
1:12:30	4.4 のところの主な追加調査っていうところで繰り返し活動。
1:12:35	した断層の性状に関する知見って書いてあるんですけども、これって具体的にページで言うと、
1:12:42	243 ですか、それとも 250 とか、
1:12:56	中部電力森本です。250 ページがそれに該当しますと上の箱書きで書いてるところ調査して調べてきたというものです。
1:13:10	はい、規制庁性がわかりました。はい、ありがとうございます。
1:13:22	中部電力森本です。5 ページの記載は、
1:13:26	繰り返しながら 250 ページは複数回って書いて体制ちょっと統一取れてませんのでその辺はの一させていただきます。
1:13:41	はい、わかりました。
1:13:44	ですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:47	今回の
1:13:53	本体の 16 ページをお願いします。
1:14:02	本体をずっと最初から見ていくと、今回全体の流れがわかる資料っていうのは、
1:14:12	評価の流れですけどもそれ多分 16 ページが最初に出てくると思うんですけども、
1:14:19	高齢の
1:14:21	これを文章にしたのが一番最後の
1:14:25	このページになるんですかね。
1:14:34	345346 に対応する、そういう理解でいい。
1:14:38	中部電力の中田でございます。その通りです。横浜の流れであって、それぞれの評価まで書いてないんですがそれで評価をつけたものが本当の一番最後の 347 ページになりますので、これに対応する文章ということでそのままの 346、300。
1:14:55	ため込んで 46 がまとめの文章ということもあります。
1:15:03	はい、わかりました。
1:15:29	数値のナイトウですけども、全体のね、長の棒しかちょっと有効管内確認させて欲しいんだけど。
1:15:38	多分、一番後ろのページが全体を簡潔に求めましたっていう話なんですよ、0.
1:15:44	さっきの話にも関係するんだけど、もう
1:15:49	いろいろ調査をしましたとそれはいろいろありますということでそこは後でちょっと確認をするんだけど、
1:15:59	結論としていえるとしているのがまずは深部に続かないので、これは自動的に
1:16:09	動いたものかとしてるってことなんですよ多分ね、震源として考慮する活断層ではないと言っているのは、
1:16:17	これは時使用回数、みずから起こすものではなくって、
1:16:28	ですと言っているんですよ。
1:16:31	でも皆さんの主張って、これって昔は地すべりの的なものですとかいろいろ言っていたんですけど、ここはどういうし、
1:16:42	市長に変わってるんですか。
1:17:00	いや、というのでこのサブのページだけ見ると深部に続かないので震源として考慮する活断層ではないというふうに流れている。
1:17:09	ように、
1:17:11	そういう主張されているように見えるんだけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:14	地形は深部に続かないので震源として考慮する、地震発生層まで行くようなものではないと。
1:17:24	いう結論。
1:17:26	までしか主張しないということなんで、
1:17:29	ですかね。
1:17:38	中部のなんかでございます。一応これはまずAの評価二つ掘ってそういうふう に震源とする断層じゃないということがまず一つそれとは別に、H級で代表で きるという中でH級、上載地層が来更新してますので、
1:17:56	1の総計として公式公金コースを更新世の活動性がないよというバツの大きな 評価の流れAになるかと思えます。西縁話もちよっと前されておりましたけれ ど、そういう意味で
1:18:09	別に震源断層であろうがなかろうが、吸い込ま地すべりっていうのは、震源断 層なんではあり得ませんけれど、一応今回まだを成因としての評価はそのま まで、前と同じような形で残してあります。
1:18:24	。
1:18:40	学長ナイトウですけども、いや、だから、皆さんの主張として1系統は、
1:18:47	水位は何であってということを含めて、も同じであるものと評価するって皆さん 言ってただけけども、
1:18:55	我々が求めているのは、市来複数あるHKDどれであっても、すべての活動性 を評価できる。
1:19:06	通しているのか。
1:19:07	可能なんですけれども、震源として考慮する活断層ではないから先が繋がっ ていなくて、
1:19:14	どういう主張なのかなとかよくわかんないんですけど。
1:19:24	中部電力今井でございます。もちろん我々としては1断層が後期更新世以降 活動しないということで、市税ば別に
1:19:36	今後起きる可能性の断層じゃないということももちろん最終ゴールでありま すけれども、タダノから泊にもナイトウさんからあればしていただきましたよう にも少なくとも深部に繋がるような断層がないと。
1:19:49	要するに震源断層でないということは少なくともいえるようなことで一旦そうい ったいい解釈を入れたらどうだというアドバイスをいただきまして、
1:19:57	周りといいたしました地震の評価に対して1月の基準は当然関係ないということ もありましたので、一旦ちよっとなかじめという意味意味合いもちよっと含めて です、少なくともキチン断層のような多層でないということは一旦ここで結論 を出しつつ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:13	もちろん最終的な位置付けを将来活動するような断層じゃないというところは最終目的として設置後ような全体の流れでございます。
1:20:26	規制庁ナイトウですけど、いや、だからね。
1:20:30	じゃあ、いろいろデータっていろんなところに散らばってるからようわかんないんだけど一番もともとは今日も最後のページだってことなんで、震源として考慮する活断層ではないという評価を深部に続かないからとした上でしたやつは、
1:20:47	どこに流れるんですか。
1:20:51	震源として考慮する活断層ではないというふうにここで今 37 かじめなかじめだつて言われたんだけどなかじめになくなって、これは、
1:21:00	今のこのフローだと最終結論ですよ。最終結論とはここに一つあって、それともう一つ右側に流れてるフローがあって、
1:21:17	こっちがこっちは皆さんの主張としては同じ時代に動いたんだっていう主張。
1:21:27	なんだろうけど、もう
1:21:32	と同じ材料動いたんだっていう主張と震源とする、考慮する活断層ではないというのはリンクはしないという主張なんですか。
1:21:42	浅部でしか動いてないという
1:21:46	ふうに評価できるという話等を活動時期が同じ時期であると評価するっていうものについてはリンクしない別々のパラのものっていうそういう主張なんですかね。
1:22:00	中部電力アマンでございます。必要で、十分条件という観点において、まずちなんそうではないということで数kmまでおよんでいないというところで、もう言えているだろうという形でここで消火つの形で、
1:22:19	震源として考慮する活断層の断層ではないというのを入れさせていただきましたので、ナイトウさんがおっしゃる通り、
1:22:26	それ以外の後の検討で成因とうことを含めて評価していったそちらは震源として考慮する活断層何とか補強にはなっていくんでしょうけど、それがなくてもいえるのではないかという説明で今回は入れさせていただいているというふうに考えています。
1:22:51	規制庁ナイトウですけど、じゃあ深部に続かないということは皆さんが意識をしている同じ時代に動いたものと評価するということには使っていないデータだつていうそういう流れでいいですね。
1:23:09	すいません中部電力ものでございます。確かにちょっとこのフロー上をこれを終わっちゃっているのでもうそうではないですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:20	そうですねおっしゃる通りです。ちょっとこの表記が間違っていると思いますこの情報自体は、右のほうでも当然使われていくので、ここで消火として震源として活断層でないというのはここで言っているだけで同時に連続していくものでないという情報は、
1:23:37	右のほうにも当然それは分布が限定的という情報として入っていきますと、ここが少し足りてないので修正をさせていただきたいと思います。
1:23:52	規制庁に対する修正はいいんだけど、市長としては、皆さんの主張としてどういう主張なんですか。
1:24:06	中部電力の中村です。少し言い方を変えればですね、震源H断層系が震源断層ではないっていうのは、いわゆる
1:24:17	四条断層ではないということの説明ですし、
1:24:22	断層系が将来活動する活動する断層ではないっていうのは、いわゆる三条断層として敷地内断層の活動性がないというような話の説明になりますので、関連はありますけども、起震断層ではないという四条断層ではないっていう話と、
1:24:37	カトウせないという3勘定断層の話というわけにもなるかと思います。
1:24:48	はい。規制庁サグチです。ちょっと私も今のところに関連してやっぱりよくわからないんですね、全体構成ですね、皆さんは少なくともいろいろな調査をした
1:25:01	した上で、今回追加で貢献等々もありますけど、みんな分布廊下正常の分布分布がいつてるかどうかわかんないですけど、清浄等がですね、
1:25:13	すべてすべてすべて1Eについては類似しているんで、おんなじなんですよって、多分そういう御説明だったと思うんですけど。
1:25:23	で、
1:25:25	ただし、結局そこを一番の
1:25:30	みんなよく似ているからおんなじなんですっていう説明なのかどうかっていうところをまずちょっと、
1:25:37	考えをお聞かせいただきたいんですけどねその上で、だからこそ、1はすべて
1:25:44	税務どれをとっても、
1:25:47	代表できます。
1:25:48	という
1:25:50	論拠でされているのか、そうじゃないのか。
1:25:55	ちょっと教えてください。
1:26:02	サグチすみません

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:04	ちょっと言葉が今足りなかったかもしれないので、4条3乗という話がありましたけれども、結局は言ってしまうと三條対象というか、将来活動する可能性のある断層等ではないということが全部利益言い切ればそれで全部が
1:26:24	よくて、御社は今の資料だと、そういう
1:26:29	流れになっているんですけど。
1:26:32	本当にその四條対象も含めてこの震源として考慮する活動、震源として考慮する活断層ではないっていうのが、
1:26:42	本当に必要なか必要じゃないのかっていうのをちょっと考え方を教えてください。
1:27:03	中部電力アマンでございます。先ほどデータ三條四條をあえて今回入れさせていただいている背景としては、やはり四條じゃないということで起震断層でないということで、
1:27:17	が、次、例えば審査会合で御理解いただければ、今後その地震動の評価の中において、以前、以前とすごい昔の航路の審査の中でやはりH断層系が
1:27:33	地震断層であるやなしやっていうところの結論がつかないと、Ssの議論までたどり着けませんよというお話をいただいてましたので、少なくともここまでのデータで起震断層ではないということまではいえるであろうということで今回消火つをつけさせていただいた。
1:27:51	こういうふう認識してございます。
1:27:57	規制庁サービスすいませんちょっと回りくどい言い方だったかもしれないんですけど、じゃあもう
1:28:02	担当職員、
1:28:04	言いますけれども、今、
1:28:07	14本ある。
1:28:09	ですよ、敷地の中で、A1断層系と、
1:28:12	そのうちの14本すべてについて、
1:28:18	類似性があるから、一緒だから、これは活動性は同じとして扱って評価をしますという御説明でよろしいですか。
1:28:31	中部電力アマンでございます。ちょっと言い方としてはちょっと違うということで、類似性があるからではなくて類似性を示した上で、今回の資料として、ではそれが実際にその岩盤中の活断層が動く。
1:28:48	場合と、未固結のときかどうかという、そういった評価をしますし、繰り返し起きる
1:28:57	次条というのと対比しても違うということで、その似ているからっていう話じゃなくて、似ているというデータをすべて

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:06	つぶさにとらえた上でじゃあその性状は他の活断層の動き或いは繰り返し動くものと比べてどう違うかすべてがやはり違いますということを今回の資料で説明させていただいた上で、同一で代表してどれをとっても代表して評価できるというふうな論旨で
1:29:26	説明してきているつもりです。
1:29:29	はい、規制庁サービス
1:29:31	あんまりこれ以上議論になるかもしれないんですけど、もちろんそれはそういう御説明は理解していますので、ちょっと私の今言葉が足りなかったっていうのもあるんですけど。そうすると、
1:29:44	じゃあですね、すべて出されたという話なんですけど、実際そうじゃなくって具体的に言いますけれども、H-8 って全くデータでないんですよ。
1:29:53	これってどういうとる取り扱いにされるんですか。
1:30:05	今回その性状に関しては
1:30:11	どうぞ。
1:30:24	はい。すいません。森本ですけれども、性状に関しては 63 ページ。
1:30:29	のほうに記載しておりますが、詳細な露頭だとか薄片のデータを示した位置付けというのは、
1:30:36	／63 ページの上のここにありますが、三条断層という位置付けで 1 から 1-7 で海域の断層を示したというところと、あともう一つ、上載地層有するという位置付けで地球を示しております。
1:30:56	特に
1:30:58	上に重要施設が乗ってない。182 だに関しては、衛星情報については、示しておりませんが、この分布形態に関してはですね、H8 がほかの断層と同じように、
1:31:14	南傾斜で、東西走向の断層であるというところは反射断面のほうで確認しております。
1:31:22	そちらについては、資料でいうと、
1:31:28	175 ページに、
1:31:36	規制庁サービスのおさらいますオリフィスの下の図 2 に我々ボーリングでこの日落差があるかという推定した。
1:31:48	各断層よりせんで載せてますので、これらの 18 の部分はですね、MS対応するようなところに不連続面が確認できているということで、
1:31:59	1 月についても他の断層と同様な分布形態であることは確認しております。この分布形態を使って主に使ってですね我々H断層は同時にできたんだというところで仮に動くとしても、また同時に動く。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:15	もうだということを示してますので、最終的な結論のところには影響しない来庁しないと、今のところでは十分では示しているのかなというふうに考えてます。
1:32:27	はい、規制庁サービスということは無H8 だけについてはもうこれ分布性状分布性状の値分布形態のところだけだと、そういう理解でいいんですよね。
1:32:37	まずそういうことを聞いたかっていうと、
1:32:42	これ確認なんですけど、要はH8
1:32:45	当然よこれ四条対象になるんで、別に三条のその変位までこれ。
1:32:52	評価しなくてもいいわけなので、要は、14 本のうち、別にこれ 1 本とか日本すぐ外に出して評価してもいいのかなというところなんですけどそれでちょっとお聞きしたんですよ。で、実際に先ほど森本さんから。
1:33:08	すむ説明ありましたけど、どっかにあるものについては本部だけぽんと出さないだけじゃなくて、以降、詳細な性状もちゃんと検討されているっていうので。その辺が結局、
1:33:22	最初、資料を見て説明をされた時にやその他のかなと思ったんですけど、
1:33:30	ということは、H8 だけはちょっと外に出してこれはもう四条対象なんであくまでも四条対象としての評価で終わりで、その他については三条も含めてやるのかなという説明だったのかなと思ったんですけど今そういう、
1:33:44	資料はそういう説明になっています。去年です。
1:33:50	お話の途中でごめんなさいサグチさんの説明が冒頭から
1:33:55	ご発言が聞き取れなくてですね、もうそこにございませぬもう一度
1:34:01	初めからナガセいただいてもよろしいでしょうか私しゃべった後の内容です。すみません。
1:34:08	はい。規制庁サグチですけど、今聞こえてます。大丈夫ですか。
1:34:13	はい、ありがとうございます。なぜそういう確認をしたかという、
1:34:19	18 っていうのは当然今直下にあるものではないので、これはあくまでも四条対象として評価をすればいいと。
1:34:30	いうところで、この 14 ある中でも 1 本だけ例えば外してですね。
1:34:37	これはもういわゆるその震源として考慮する活断層ではないという御説明
1:34:45	その他の
1:34:47	直下に位置する残りの 13 歩前地球は違うんですけどもこれは表、この後の最終的な評価に用いるのでそこは同じ比較をしましょうと。
1:34:59	いうのはあるんですけど、残りのものが直下にあるので、これは三条も含めてちゃんと評価をしなければいけないので、詳細な性状の検討をしましたと。
1:35:12	いう御説明なのかなと資料を私が最初見たときにですね、そう思ったんですけど、そういう説明でもなくてですね、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:23	実際そのあたりどうなんですか、そのH8も含めて全部を
1:35:28	いわゆる3、三条対象断層としての評価の中で評価をするのか。
1:35:34	それとも、
1:35:35	18はちょっと
1:35:38	別にして評価をします。
1:35:40	だから、
1:35:41	そこまでその詳細な
1:35:45	性状の検討はしなくていいですよ。
1:35:48	その辺りちょっと、
1:35:51	どう考えているか。
1:35:54	ちょっと教えていただきたいんですけど。
1:35:58	中部電力アマンでございます。先ほど来のナイトウさんとサグチさんのおっしゃられてることがよくわかりました。ちょっと起震断層じゃないっていう4条の話をしつつ三条のところと防やもやっとしながら、
1:36:16	当然データっていうのは、今あるものをここはすべてお示しているんですけどそのすべてをどう取り扱いをしていい。
1:36:27	どの断層で代表できるかというところを、当然100点満点のデータにあったH8とか7というのでそういったところも含めて、もう少しうちとしてこう考えてこうしていきますっていうところが書いてないもんですから、少しはバラバラと。
1:36:45	評価が出てきて、結局ず総括して、中部電力が何が言いたいが、このデータをこう考えて説明していくというのがちょっと足りてないなんていうのが理解できましたので、その辺りを加えさせていただきたいなと思います。
1:37:05	はい、規制庁サグチです。もちろんですね先ほどナイトウさんおっしゃったように、かといって分布形態っていう面では骨子深部に
1:37:16	あるかないかっていうのも一つ大きな類似性なりっていうのもあるので、その間ケースも含めて、この今14本の断層をどういうふうの評価するのかってのはきちんとですね、やっぱり整理をした上でですね。
1:37:31	御説明いただきたいと思いますので、出ないと我々ちょっと理解がなかなかできないところがあって、そこはよろしくお願いします。
1:37:41	あとちょっと、
1:37:44	関連してなんですけど、必要なデータ渡されたテーマ確かに拡充されているんですけど、1点ちょっと気になっているのは当然、最終的にはH9断層のところ
1:38:01	で、そこは何かっていうと、BF4地点ですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:04	じゃあBF4 地点ですべてのデータがあるかっていうとそういうわけじゃなくて、H級、
1:38:12	の
1:38:14	データっていうのは、ほかの
1:38:17	実際に活動性評価を行うところじゃないほかの地点でとられたデータになると思うんですけど、そうすると、もうこれは我々、
1:38:28	最終的なところを見れば、
1:38:32	やっぱりこのBF4 地点っていうのは、すべてのデータが必要だと思っておりますので、もし足りないようだったらそこはちゃんとデータを出していただきたいと思うんですけど、その辺りいかがですか。
1:39:02	中部電力大南です。まあ試料分析測定という形で例えば 148 ページのところを本編の 148 を見ていただくと、それぞれの分析ということで1 いうも含めて、
1:39:16	記載しているという認識なんですけど、補足ございません。具体的にはどういったデータという認識でしょうか。
1:39:27	規制庁サグチです
1:39:29	じゃあ確認させていただきますけれども、H級と断層っていうのはすべてBF4 地点でとられたデータということでいいですか。
1:39:37	ざっとしかも私もこう見ていないんで、すべてを確認したわけじゃないんですけど、最低でもですね。
1:39:46	針貫入試験、針貫入試験を多分個別の地点でされてますよね。P11 地点かなんかでじゃなかったでしたっけ。
1:39:58	中部大南です。Dt地点でやっぱあるものの、それぞれの断層の観点として見るとその延長上要するにBF4 地点を延長上にある、その断層というものでやっているの
1:40:17	BF4 地点そのものかと言われると、確かにあれですけども、一応その延長上ということを確認した上でその断層ということで、データをとってございます。
1:40:30	すみません森本です補足ですけども 284 ページに、
1:40:35	そのBF4 地点と我々言っているところと配下に試験をやってるD地点との位置関係を示してます。
1:40:44	ということでBF4 地点から大体東のほうに 100 メーター程度いったところの露頭で確認した内容を
1:40:56	になりますが、
1:40:59	私のサグチさんおっしゃるのも、まさにBF4 地点でやらなければ意味がないということなのか我々としては、ちゃんとそこまでのTRACEの連続というのは、しっかり正免危確認した上でD地点の結果を示し、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:16	してますので、そこでI級としての第
1:41:21	代表性というか、データとしては一つ示しているのかなというふうには考えておりますが、ちょっとその辺の考え方をどうかなと思うんですが、いかがでしょうか。はい。規制庁サービス、むしろ教えていただきたいんですけど。
1:41:36	なぜP11 地点を選定されたかどうかっていう
1:41:40	ところでですね。
1:41:43	ちょっと教えてください。
1:41:47	ちょっと実情としてはですねこちらBF4 地点の敷地外になりまして、弊社の土地ではない関係もありまして、その地目としてですね農地という事情もございますけどもこの中の掘削を
1:42:03	がんが行えるようなところでもないので、新規のデータがとりづらいという事情が事情としてはそういう事業です。
1:42:14	。
1:42:15	はい。規制庁サグチです。わかりましたけども、あくまでもそれは御社の判断ということで理解をしましたけど、我々としては最終評価地点っていうのは重要ということだけはお伝えしておきます。
1:42:48	規制庁タニです。ちょっと私のほうもー347 ページの
1:42:53	まとめというところを、
1:42:56	確認したいんですけども、
1:42:58	なんかこう、これを見ていくと。
1:43:01	因果関係というかですね、
1:43:05	どうしてこう流れてるのかなっていうのが、ちょっと話を聞いて、何となくわかるんですけどその辺確認させていただきたくてこのフローで右側の青、青色でH断層系はその層群が、
1:43:18	未固結から半固結の時代に一体として形成されてそれ以降動いていないっていう過程があるわけですね。
1:43:27	ね。なんかそれを聞くとこれが何か活動性評価の結論っぽいようなことを言われているような気がするんですけど、その後にBF4 で 19 断層で上載地層法を行うというなんていうんですかね。しかも、
1:43:43	あまりか、この辺の
1:43:48	この青字で書いてるところっていうのは、
1:43:52	どこまで言ってるんですが、これは時代を特定できないけれども、古い時代に動いてるっていうことまで、ここで書いていますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:11	中部電力の森本です。時代は、特定できないけれども古いということを書いてただ活動性評価、ガイドに従ってとやはり上裁地層という司法が我々のサイドとしては唯一なので。
1:44:28	それにのっとして越流断層で上裁地層のんだから評価したという流れです。
1:44:37	ガイドの記載に乗ってくると、もうその下のところで結論としては言っているというものです。
1:44:44	はい。タニです。何か考え方はわからないでもないんですけど、結局この青、青書きの記載が正しくなければ、
1:44:55	ここの中に負荷正しくなければ、19 断層で評価を行うという流れにいかないわけなんですよね。だけれどもこのなお書きはもう活動性がすべての断層で何か古い時代なんだってというようなことが書かれて、
1:45:11	19 断層を評価するっていう
1:45:16	のが確認なのか何なのかちょっとよくわからないなと思ってるのと、なおかつこのちょっと上にですね、
1:45:26	H断層系を 4 基礎 4K4 系に変位変形は認めていないっていうのを根拠に形成後においても一体として活動するH断層系わけ。
1:45:38	というなんていうんですかね。
1:45:40	これは多分BF4 地点のことを書いてるんですよね。ここでもなく 4 系が動いていませんよっていうのにもその
1:45:52	先に使っているわけですよね。因果関係の話の中で、この辺はどういうふうなことを考えて
1:46:02	HBF4 の話をする前にここに第 4 系の話がされている。これは何か話がループさせてるっていうことをフィードバックしてるってことなんですかちょっとその辺の考え方を教えてください。
1:46:17	ちょっとぱっとの高校のその図だけご覧になると違和感を覚えられるかもしれないんですが、説明としての流れとしてはですね 200、
1:46:29	4415 ページ。
1:46:31	もうご覧いただきたいんですけど。
1:46:36	まずちょっと一番先がいつできたかというところは多いごめんなさい。
1:46:44	一段組織ができた後に動くかどうかの検討をやってますんで動いて、
1:46:50	これにですね位置付け
1:46:55	できてから
1:46:58	できたときから先までの間に動いたとしたらこういう証拠が見られるでしょうという証拠をAからEということでこの箱書きの中に設定してます。その一つとしてこのCの部分のページへと 248 ページになりますが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:16	できてから現在に至るまでの間で動いていれば証拠があるでしょうということでその証拠の一つとして、高知更新世以降の活動の跡というの、モリですネ おりこん申請後以降に
1:47:32	動いていればそういったものの証拠として出てくるだろうけどそれはまずないというところ。
1:47:38	後であります形成後の後の話。
1:47:42	もうこの音声を調べて欲しいまず潰してやったという位置付けで、
1:47:49	あくまでBF4 オオツの上載地層がいつの時代なんだというところがこの後段でまた
1:47:55	やってるといふふうに言われたので、ちょっと丸くして聞こえるようなところもあるかもしれませんが、
1:48:03	その可能性の一つとして、再活動をした時の見られるであろう痕跡の一つとして、当然 4 事項にも出てくる可能性があるよねという可能性を一つつぶしたという位置付けで、
1:48:22	規制庁ナイトウですけれども、そうするとね最初のところで通さないすみません、都産マイクが入ってないんですがナイトウですけど、聞こえます。
1:48:32	はい、聞こえます。規制庁ナイトウですけれども、いや、刀禰の子炉底の部分とね。
1:48:40	全部を見ているわけじゃないんですっていうところで、
1:48:44	どういう論理構成にしているのかよくわかりませんよ我々海盆と前回の会合のときにも言ったけれども、pH計のドルであっても、すべての活動時期を評価できるんだということ。
1:49:00	を主張されるのであれば、1 基金のすべての断層についてきちんとどういう状況なのかっていうのを横並びにして、そのうえで通り何も根拠にしてそう主張できるのかっていう抑制してくださいね。
1:49:14	と言っています。そこが説明できないのであれば、H系という形で一つの同類のものと分類できるものっていうのであれば、規模の大きいものとか、通常でやるような形でやらざるを得なくなりますよ。
1:49:30	というコメントしてと思います。その中でさっきもとのH8 は特に何も見ていませんとよく見ているものは、
1:49:40	結局、
1:49:42	19 の中で、
1:49:44	いくつかのものをみていて、それでなんで
1:49:51	すべてのデータを
1:49:54	そのものでもって代表できるとしているの。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:57	しているように市長書いてあるんだけど、なんでたかもわかんないし、
1:50:04	はい。後で期首形成後に動いたのであれば、そういう痕跡があるんだっけ、あるはずなんだけれども、じゃあそれは認められないから動いてないんですというのも全部の地域で見ているのか。
1:50:21	というところでもないんですね。
1:50:25	じゃあ、地形いっぱいある中でこれとこれとこれを見ているから、すべての断層は
1:50:33	そこのいくつかの断層で見た結果として、皆さんが主張する動いたとすればこういう特徴があるはずだけれども、という市長をされているものがないからすべてが動いてないっていうのどういう論理低下でやってるのかもよくわかんないし、
1:50:51	どういう展開なんですか。
1:51:09	SHO-BIのクマイです。前回の御指摘でとにかくすべての一段送金について微細構造を含めて横並びに整理しなさいという御指摘があったかと思います。それにつきましては先ほどまとめて留萌おりますけども、149 ページにございますように、
1:51:24	1-1 からリクルートH級までに当海域の1-0 から1チームを持っておりましてということでございます。一応開けないじゃないかっていう御指摘は先ほどからありますように耐震重要施設の直下になんかということもあって、今回はあの断層性状そのものについてはHはちょっと入ってませんが、
1:51:42	その他耐震重要施設の直下にある断層は、海域も含めてすべてこのマトリクスでございますように、げたを特に断層面の詳細性状とかその辺の特にの軟質材料物質がない施設だということをやはり再活動性の議論よりはそこが気になるという御指摘もありましたので、
1:52:02	特に断層面の性状に関しては役員のデータも含めて全部そろえてきた。
1:52:07	いうところがまず一つございます。
1:52:10	もう一つはやっぱりその、やっぱりその再活動性っていうところが、やっぱり主な論点かと思ってますので、それに関しましては今回、それだけを出して241 ページ以降に形成後における活動ということに関しまして、活動機構の話から文献地形、
1:52:27	先ほど過ちを4期層の委員全員、
1:52:31	でいい岩盤において活用斜線状との対比をさらに繰り返し動いたらどうなるんだといったところの知見との対比、それらを踏まえまして総合的に見たところも一応遊びが基本的にしてやったときは、一連のものとしてケース、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:46	要請されてそのあと動いていないということで動くときは必ずというか、一体として動いたことはないということをもって、どの断層でも活動して評価を代表できるんだとそのような、今回は論理構成としているというところであります。
1:53:04	規制庁ナイトウですけれどもやね。だから、
1:53:08	モリ構成がよくわかんないんですよ。
1:53:13	いや、全部をね同じデータを例えば
1:53:18	動いたんだと形成後に動いたんだとするとこういう痕跡が見えるはずだから動いてないんです。
1:53:26	ということを思って主張されたいのであれば、
1:53:32	全部ないといけないし、いや、一部だけやっていって取ってないやつもあるんだけど取ってないやつも含めてとったやつだけで地形をすべて同じ時期に活動したんですっていう論理構成にどうやって持ってっていうのがよくわからない。
1:53:57	圧力の森本です。ナイトウさんが今おっしゃっている一部の断層しかないというのは、H8がないことを持っておっしゃっているんでしょうか。我々そのデータとしては全部の断層で、
1:54:09	ごめんなさいえっと一井を除くすべての断層で性状としては薄片も含めて詳細に観察してきましたし、
1:54:19	観察してきたというものでございますが、
1:54:27	規制庁サグチです。
1:54:29	ちょっと確認なんですけど、そういうのも含めて、
1:54:33	全部がそれは分布形状とか、そういうのも含めてですよ。今の
1:54:40	御説明あった249ページとかっていうのはこれはあくまでも正常に関わる一覧表であって、
1:54:46	全部のトータルの
1:54:48	総括的な評価っていうのは、
1:54:51	あるんでしょうか。
1:54:59	今総括の表としてはですね
1:55:02	ちょっと再再活動という御形成の活動の話に限られてしまいますけれども、252ページが、それに該当しています。
1:55:14	ごめんなさい、251ページ。
1:55:20	これですいませんH8が
1:55:24	この列でDとEの列のところまでなしと書いてあるのはちょっとこれ誤記なのでちょっとそこは修正させていただきますが、当然つき合いにも茶津該当すると

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ころだとか、ユニソバ切れてるようなところというのは確認はできてませんので、
1:55:42	そういったところも含めてねと判断しているというものでございます。
1:55:48	はい、サグチですけれども、多分ですね、すべて
1:55:53	の調査項目を含めて例えば一覧表にすると多分いっぱいいろいろなんですかね、あるところないところで歯抜けのような状態ってなると思うんですけど、少なくとも、御社が
1:56:08	同時期に形成されて、
1:56:11	それ以降を活動がないとする。
1:56:15	ものに対するエビデンスですね。
1:56:20	特に重要なものについての
1:56:24	一覧表というのが総括表ですよ。
1:56:28	というのをきちんとまずこれ整理をしていただきたいんですけど。
1:56:33	文字だけとか、
1:56:35	あと何か部分的に、
1:56:37	性状はこう分布はこうかってバラバラじゃなくて最終評価として、
1:56:43	1枚、2ページの右上のところとかで2ページにわたっても当然構いませんけど、そういうまず総括表ですね、ちゃんとですね。
1:56:54	整理をしていただきたいんですけど。
1:56:56	今、内でいいですよ。そうそういう部分、
1:57:01	中部電力の森本です。そうですね今そう分布形態性状まで全部横並びという数は表はございませんのでその辺はい立入どう考えるかという考え方も含めてですね。再編整理させていただいて、
1:57:18	持っていきます。
1:57:22	うん。
1:57:27	中部電力アマノです。今森本が
1:57:30	配当した通りなんですけど、サグチさんおっしゃられる通り、ちょっと
1:57:34	分布だとかそれ以上ってそれぞれの論点では整理しているんですけど、うち1発で全体を見渡せるものが作ってないのでそこをやって当然一部前のところっていうのはあるんで、先ほど来話題ネットH8とかは、
1:57:52	入るとこ入るけど範囲の所入るでそれを踏まえて、うちとしてはこういう形で、その後の評価をしていきますよっていうところをしっかりと論理立てて、
1:58:02	治療に落としした上で、最後の
1:58:06	どうも断層でも代表としてできるというところに説明をつなげていくような打上げにしたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:14	規制庁タニですけど、ちょっと話変わるかもしれないですけど、片側 6 の話になったので、92 ページイトウ 93 ページに
1:59:25	要するに、
1:59:29	1 系の断層が一部やわらかいところがあるんだけどそれはこういうふうに考えてますっていうふうに、こういうのが 1 枚も付け加わってるんですけど考察として 2 枚か。
1:59:43	これって、
1:59:46	こういう知見がありますよって言うだけであってんなんで
1:59:51	何でその軟らかいところは、
1:59:56	なんて言うんですけどやわらかいところも、
1:59:59	に対して高校の知見に当てはめ得るんだっていう部分が何か抜けているような気がしてまして、
2:00:07	これって、要するに観察からタダノの現地の観察からこういった結論を導いてるのか、何か薄片だとか
2:00:17	この後段に書いておるのことも含めて、こういった結論に至っているのかがここに今読んでいってもですねよくわからないんですよ。
2:00:27	で、
2:00:28	何かちゃんとどうしてこういう
2:00:33	考察に至ったのかっていう部分を説明していただきたいんですけど、今何かあれば、
2:00:47	キムラユニティー今井でございます。92 ページはもともと前回の資料でも、このような説明はしております、
2:00:55	もう何デサービスが何をやるカイダという所もともとこのような考察をしております。
2:01:01	B は特に基本的には属性されているか脱水効果が遅れたんだという話を基本かなと思っていますけれども、特に間隙水の影響というところが、前回は説明していました。そこをもう少し丁寧に説明しようということで 93 ページをつけたというところがございます。
2:01:21	でもまたおっしゃるようなちょっと文献、
2:01:24	御金ベースにはこのような考察をしているということで調査結果からどうかというところは確かにちょっとなかなかないんですけども、
2:01:32	もうあくまでも考察として、何でやるカイダというところは、このような考察をしています。ちょっと補足ですけど

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:41	現地です。ね露頭の状況表を例えば雨が降った後にちょっと見に行った時とか見てみますと、確かに透水性が探るのが当然高いもんですから、大体3は行目のところが占めている状況というのも確認できるんですけども、
2:01:57	1は先ほど再力そのものはあまり占めているような状況がじゃなかったというところがありまして、
2:02:03	大体こちらの93ページのkine受け取るとかにもございますが、大体その断層名そのものっていうのは大体一般的には問う姿勢が急になるということも知見もよく出てくるもんですから、そのような考察をちょっと今回、93ページで多少補足させていただいたと。
2:02:20	というようなところでございます。
2:02:23	これ時そのものの細部資金
2:02:25	滑舌そのものにかかるような話がございせんけれどもあくまでも考察っていう形でまとめさせていただいております。
2:02:34	以上です。
2:02:40	規制庁タニです。
2:02:41	えっとですね、活動性に全然こん県内こと言うそうではなくって、これ何か固まってるところとやわらかいところがあって、なんで軟らかいところは後で動いたとかそういうことを考えないのかとかいったところにこれ関連するようなところだと思いますので、
2:02:59	ちゃんと
2:03:00	考えを示していただきたいと思います。
2:03:06	もうちょっと考えが落ちてくるということで理解しましたのでよろしく願います。
2:03:17	中部電力今井でございます。ただのご指摘もう少し考えがあるっていうのは、もう少し具体的に言うところのどのような記載を、例えば加えればいいかというところをもう少し教えていただければと思います。
2:03:31	えっとですね、文献がこうやって言ってますとで何でそれがここに当てはまるのかっていうところですね。何でこういったことを整理しなきゃいけないのかっていう多分前段がなくて、御社はこの硬いところとやわらかいところがあるんですけども、
2:03:46	軟らかいところは後で動いたもんじゃないんだよというのがあって、硬いところがあって喜ばれるところがあると普通その、そのあとで最新面みたいな考え方をするんじゃないんですかっていう言ったことに対して、
2:04:01	あの最新面のようなものではないんですっていうのがしっかりとあった上で、じゃあ何なんですかっていう話じゃないとなんか

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:10	いきなりこれがあってこういう考え方もできるっていう、いうふうに出されてもですね、ちょっとわかりにくいというところです。
2:04:23	はい。
2:04:25	13のちょっとスライドの1、もしかしたら悪いのかもしれませんが92ページのほうで、
2:04:34	最後のポツのなお書きになりますけれども、我々この後段ですれね発行への微細構造というのは、
2:04:42	タニさんおっしゃるようにしっかり観察してますので、当然そこがやわらかいんで可能性としては、だからこれが直っなおで始まってんじゃないですか。こうこうでこうこうという断層こう考えてるんだっていうのがですね、その中の一つにこれは入るべきじゃないかと思うんですよね。
2:05:01	どうでしょうか。もう一度もう一度いいですか。
2:05:08	あれですよ。これナナオっていうのは、
2:05:11	こう考え方をこう考えていることについて、なお、
2:05:17	形成史における活動はないと評価しているってことなんですよ。そうじゃなくて形成し、
2:05:22	形成後における活動はないと評価してるんだけれどもここがやわらかいのはまだ
2:05:27	もう
2:05:29	ちょっともうこれ以上言ったら議論になるので、この
2:05:43	切りますので、すみませんもう一度お願いしてもいいでしょうか。
2:05:53	規制庁タニです。聞こえますか。
2:06:01	中部電力さん聞こえてますが聞こえます。はい。
2:06:05	93ページ。はい、聞こえます。
2:06:10	93ページはどこまでどっかでいったらいいのかわかるか。
2:06:14	とにかくこう考えてることがこの軟らかいところは最新面のような動きをしていないのはなぜなのか出ししていないと考えているのはなぜなのかから始めて、この
2:06:29	このページの位置付けをはっきりさせてくださいということですので、
2:06:35	よろしくお願いします。
2:06:42	一部森本さんの御趣旨は理解しますので対応させていただきます。
2:07:30	中部とおっしゃい等ですが、規制庁さん聞こえますでしょうか。
2:07:36	はい。規制庁聞こえてます。はい。
2:07:51	中部本東京支社でイトウですが本店側の施設にします。
2:07:59	はい、本当に聞こえてます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:04	本当に聞こえています。
2:08:07	ここ。
2:08:08	了解です。
2:08:25	規制庁サグチですけども、聞こえていますでしょうか。
2:08:32	はい中部電力本店聞こえています。はい、ありがとうございます。ちょっとお昼時間で最近
2:08:40	伝播の調整があまりよくないらしいので。
2:08:44	もうちょっと改善が良くないってということもあるんですけども、
2:08:48	かといってちょっと時間ももったいないので、少し確認をさせていただきたいんですけど。
2:08:56	29 ページとかデイ露頭観察例で今回負債をいろいろ追加をされた部分があるんですけど。
2:09:07	その中で、例えば 29 ページ、標高説明あったのは、
2:09:14	その次かな 30 ページとか、
2:09:19	大きく記載を変更されたとか追加したのは、再流物質中に複数の層からなる層状構造、
2:09:29	というものが無い。
2:09:30	ていう多分この部分だと思うんですけど、という御説明もあったと思いますけど。
2:09:38	これって、
2:09:42	幅がすごくこう数mmのもので、
2:09:46	どうやって層厚層状構造がないとあって、
2:09:52	確認をしたのか。
2:09:56	そう、そう上ではない層状とはこういうものだよみたいな、
2:10:00	乗ってちょっと教えていただきますでしょうか。
2:10:17	中部臨空今やっております。今回逆に繰り返し活動があるものは層状構造があるということで、本編では表のほうで整理させていただいております。
2:10:31	日の 250 ページですね。
2:10:34	数回活動遮断水密正常のことです。
2:10:38	こちらのちょっとボリュームが大きくなるもんですから今回あの補足資料のほうに整理しております。
2:10:47	同補足説明資料の 36 ページ、こちら 4 番の案件の概要ということで、こちらにいい御意見の概要を整理しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:57	例えばこの 37 ページ仕事ミリということで、これは野島断層なんですけれども、こちらのページでは基本的に露頭の観察結果、写真でいうとこのございます。
2:11:09	こちらで断層のところで、Pとありますな初動建屋となんですが、ここでちょっと層状構造が見えているということで、詳細はですね、38 ページのほうにございまして、
2:11:24	38 ページの右側が左側下でブロック試料でございまして、これ一等尽きるということを 10、15cmから 20cmぐらいということで、目視レベルでもこのような
2:11:36	層状構造が見えるというものがございまして。
2:11:39	また 39 ページはカトウカのこれビラ断層なんです、一方、
2:11:44	下の写真にございまして、
2:11:47	ちょっと先ほども申し渡し比べるとちょっと幅は小さいんですが、木製もこのようなそういう構造が見られるということがございまして。
2:11:55	40 ページのカイダもやっぱこれはヤマダ断層なんです、こちらも露頭レベルで見ても相乗構造。
2:12:02	断層ガウジタイヤ断層隔離カタクレーサイトと断層ガウジの中でも複数の層とかが見られるということがございまして。
2:12:10	こういったようなまだちょっと国内の活断層の事例等を見ますと、薄片もそうですけれども、露頭レベルでもこういった装置の構造が確認できるということがございまして。それに対しまして、本編の 67 ページにございまして、一段組織につきましては基本的に、
2:12:27	一等まあ軟質な黒色層が 1 面だけやるということで、状況がございまして。こういうといったことから 11 のときは、繰り返し活動がないというような解釈をしていくというものでございまして。
2:12:41	以上です。
2:12:44	はい、規制庁サグチです。御説明はわかったんですけど、私がかもともなんでわかるのかってお聞きしたのは、これはあくまでも幅 4mmの細流物質で、
2:12:57	歳入物質の中に、
2:13:00	複数の層があるかないかっていうことで今書かれていると思っているんですけど、こんな 4 ミリっていうサイズの中で見た目で
2:13:11	わかるものなのかなっていうのでちょっとお聞きし、
2:13:14	たんです。その後の詳細な分析も踏まえてそういう
2:13:19	評価をされている。
2:13:23	説明だったら何となくわかったんですけど、そうでなくてあくまでも肉眼観察でまずこういう複数の層がありませんよとした上で詳細、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:34	観察で薄片とかの観察でそれを確認しましたという今そういう御説明だったの でちょっとお聞きしたんですけど。
2:13:42	あともう1個ですね。
2:13:44	今回ちょっと追加されたということで、この67ページで言うと上から三つ目の ポツの最後のところで、
2:13:52	これらの構造も土地層は固結しているってあるんですけど、まずこのこれらの 構造を持つ地層っていうのがどれなのかっていうのと、
2:14:02	その固結しているっていうふうに判断された根拠って、
2:14:07	どっかにあるのかっていうのをちょっと教えていただきたいんですけど。
2:14:16	時の森本です。これらの構造という流動的な変形構造は号館の部分の構造 という
2:14:27	意味です。
2:14:28	追設もうこのままここ孤立してるかどうかをどう、どうやって判断したかったとい うと、
2:14:36	現地で物を見て、その山側ではないよねということを当然確認は、
2:14:44	しているというものです、定量的にはですね今回針貫入試験の結果を示し てますが数値としてはですけども、当然も今内容等については、そういった データを今からお示しはできませんが、当時、確認した当時において、
2:15:01	当然
2:15:03	流動的な変形構造を持っている部分が
2:15:08	名しづらいということは確認をしているというものでございます。
2:15:14	はい、規制庁サグチです。ありがとうございました。
2:15:17	少なくともこれらの構造という値で言ってますけどこれはあくまでも母岩母岩は 固結しているという。
2:15:25	御説明だったと思いますんで。
2:15:29	逆に、
2:15:30	じゃ、断層面っていうのはこれ、
2:15:34	固結しているのかしていないのかって言うのはどうなってるんでしょうか。
2:15:44	はい。森本ですけども、ここですつ、
2:15:49	孤立した場合に比べればなしだというものですので、やはり加入数字で見 ると、やはり未固結な
2:15:57	例えばシンチの周辺で言うとマフラー出そうなんか未固結、
2:16:03	っていうルールに入るかと思えますけれども、その辺の辺りと多い見てくるよう な数値を得ているというものでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:15	はい。規制庁サグチです。御説明はわかりましたけど、ちょっと今のこの記載 いって、
2:16:25	私がいけません専門的でも何でもないのでわからないだけなのかもしれない んですけど、ちょっとわかりづらかったなっていうので。これらの構造っていう のはどこかっていうのをある程度何かわかるようにしていただければと。
2:16:41	思います。
2:16:46	一部電力のもとで承知しました。
2:16:58	中部大南です。ちょっとよろしいでしょうか先ほどの層状構造あの部分のよう に確認しているのかというお話があったかと思いますが、
2:17:07	ちょっとその点についてなんですけれども、これ1露頭でも1ミリオンミリという ところでどう見えるのか、実際に見るのかというのはあるんですけども例え ば67もそうなんでわかりやすいものと、例えば70ページとかあるかと思 いますが、
2:17:22	これ個別の断層面というのが黒っぽい筋として数字というか黒っぽい
2:17:27	まだ実動として見られておまして、これも日々しかない。
2:17:34	ところですけども、こういったところでもあんまり基づけるでも目で見るとスケ ールですね、現状レベルで見るとスケールとかそういった形では層状の構造ない というのは確保できるという形で各断層露頭のところにもそのような記載をして いると、そういう状況、状況でございます。
2:17:53	以上です。
2:17:55	規制庁サグチです。御説明ありがとうございます言われていることはわかりま した。すみません私はあまり専門的じゃないんでちょっと確認だけさせていただ きました。
2:18:24	規制庁のカイダですちょっと時間も過ぎましたけど何点か資料の中身について 確認というかお願いしたいんですがまず16ページの
2:18:37	さっき先ほど来ちょっとフローチャートのこの話がありましたけど、記載の問題 だけです。
2:18:45	さっきオレンジの下のところなんですけど、
2:18:49	とBF4地点というのは、敷地敷地の外の農地だっていう話だったんでこれは 敷地北部じゃなくて敷地の外ということがわかるように、北方っていうような言 葉に修正をお願いします。
2:19:04	で、
2:19:05	次ですけど。
2:19:09	63ページですが、
2:19:15	今H断層系の特徴ということで下に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:21	検討にとかいろいろ特徴が書いてあるかなと思いますので、
2:19:26	今ほど来サグチも申し上げていたと思うんですけどもこういった特徴が以降のページでば一っとう、
2:19:35	見えますっていうことは、
2:19:38	事細かに見ていけばわかるんかもしれないんですが、
2:19:42	例えば流動的な変形構造が認められるっていうのは、
2:19:47	預一番典型的なやつはこれだみたいな、
2:19:50	他もの特徴もそうなんですけれども、何か典型例みたいなやつを示して、こういったもんでっていうところがこの後ぐらいにあったほうが以降のものとの比較というのがしやすいので。
2:20:07	そういったところも検討いただきたいなと。
2:20:12	思います。
2:20:15	あとはちょっと細かいと。
2:20:24	そう。
2:20:26	232 ページをお願いします。
2:20:31	232 ページでこれはちょっと確認も含めてなんですけど、
2:20:39	これ
2:20:41	比較対象とされているのが活断層で結構ナノ知れた活断層で、
2:20:49	かつその岩盤の中っていうところを選ばれてるんですがまず
2:20:55	活断層、
2:21:04	活断層選んだっていうのと岩盤の中を選んだっていう、これ何でか。ここを選んだのかっていうのは、
2:21:12	ちょっと教えていただきたいのと、
2:21:17	当然その活断層の上の未固結なところの切れてるようなところだってこういったところは確認できるかと思うんですが、
2:21:26	そういったところとの比較っていうのは、
2:21:28	していない。
2:21:30	のかっていう、そのあたりのちょっとこれをちょっと教えていただけないでしょうか。
2:21:45	中部電力今井でございます。やっぱり1月と聞いての我々は右から半固結の時代に会計でできたと考えておりますので、それは最近動いていないかというところが、今回の審査の論点かと思っておりますので、
2:22:00	後で今動いている断層、特に

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:03	敷地近傍探すも今固結して頑張っとなっておりますので、岩盤の中に繰り返し動いたら断層の性状を示すかといった観点で、これらの有名な断層を含めまして、整理してございます。
2:22:17	実際野嶋とかではとか山だとか、どうしても活断層の中でも花崗岩で岩砕というございますので、探そうの第三者の何かということもありますんで、もう少しほかにはないかっていうのを探しまして、湯ノ岳断層とか、浅くなりますけども、ちょっと整合、断層。
2:22:34	こういったものもいい堆積岩中の活断層ということもあって、それらのものを今回の対比対象として調べまして整理させていただいております。
2:22:44	いうところでございます。
2:22:46	以上でございます。
2:22:51	規制庁のカイダです。
2:22:53	今ほどの御説明で留まる断層
2:22:56	これ、多分花崗岩中堆積岩中の観察事例ということで、
2:23:04	結構ちゃんと固結したものがずれたところがデータ係数ということでの未固結例えばこういったこの幾つかの断層の露頭でも見込んその岩盤の上には未固結な場ところだって、
2:23:20	あって、そういったところのずれた。
2:23:23	乗っ
2:23:25	比較して、例えばこのH断層系
2:23:29	未固結で動いたっていう
2:23:32	ところとの比較っていうのは、
2:23:34	されているのかされていないのかっていうのも変はいかがでしょうか。
2:23:43	中部電力の方にもと正と未固結を中の断層との比較という意味では 237 ページで行うとなっております。
2:23:54	映画祭で動いた外側も活断層とは違うよという説明をしておりますけれどもH断層系と似た断層、どういうものはあるのかという切り口で整理をしておりますが、
2:24:07	いずれもH断層系によく似た性状もともとというのは、未固結の中央断層としての整理されているという流れでこちらでもこれどちらなんだというところだというところで見ているものを
2:24:22	もう整理して示しているという形でございます。
2:24:27	以上です。
2:24:29	規制庁の開発わかりましたまた資料のほう確認させていただきますと、あとちょっとほかにも細かい点もあるんですがちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:38	とりあえず、以上の
2:24:40	私のほうからは以上です。
2:25:32	規制庁ナイトウですけども、ちょっと考え方を教えて欲しいんですけども、これね、H断層系はAとほかこの敷地の中で見てると他では認められない的な表現があっちこっちに見られるんだけど。
2:25:49	これさ向かC1 き止めるときって、5 万年で敷地の外の御前崎のほうで止めに行っていていいですよってことはあの辺にはまだ周辺でも同じような構造のものがあるってことを皆さん過去において、
2:26:02	明言されてるんだけど。
2:26:05	そこの関係の整理でどうされてる。
2:26:15	中部電力今井です。確かに昔 3 号機H01 でしたっけ。なんか 5 期のときとかは確かその後マニーという形で、御前崎のほうに同じようなですね、2 条の断層面合併流動的な成長による断層であるということで、
2:26:32	それをまた直接Hそのものといけないんですが、類似した断層がそちらにあって、液相いけないということで、昔、そのような評価をしていた時期はございました。
2:26:44	今回今回のバックチェックバックフィットでですね、そのような指摘を過去に行っていたかまして御前崎で昔使っていただけとの関係はどうなんだということをご指摘いただきましてですね、大分前になりますけども、大間崎にある断層、
2:27:00	は、あくまでもレジ正断層であるけれども、1 月の経営がそこまで続くものじゃないということは 1 コメント回答として一旦回答させていただいておりまして、それこそ、特にその場ではお認めなくて、基本的にはその場で了承されたかな。
2:27:17	なかなかと考えておりますPRA的な活動かちょっとすいません。
2:27:23	コメント回答としてすでにあの回答済みというふうに認識しております。
2:27:31	以上です。
2:27:38	いや、規制庁ナイトウですけども、
2:27:41	ところでね知見をここの中でもそうあんまりはつきり書いてないんだけども、H系は、
2:27:49	今の皆さんの評価だとこの後者の中でしか存在しないので向こうの前ここまで止めに使ったやつと連続しないっていうのは、それはそれで理解するんだけど、この地域には結局H系と同じようなものがいっぱいありますよね。
2:28:09	というのは、
2:28:11	事実であって、そこの関係で、このH系は敷地のH系だけを考えれば、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:28:21	いいんですっていうところは、
2:28:25	何をもって皆さん説明しようとしてんのか、今ひとつよくわからないんですけれども、
2:28:38	宗像です。資金規模等にあるような断層系にした類似と断層がなぜ評価しなきゃいけないっていうのは逆にわからないんですけど。
2:28:51	いやどころ
2:28:53	評価しなくていいっていうんだったら敷地内のやつはみんなこういう形をもって全部そろっていて、ここの部分で類似性できていてこの枠内で種の評価だからっていう主張されるんだったらまだわかるんだけど、全部のデータもそろえていない中で何か地形と言われているやつの代表のところだけ、
2:29:11	ぽっとデータとして規定、それがさも本来どれでも評価最新活動時期を評価できるものなんですって説明をするときに、何か代表的なデータでもって説明されている中で、
2:29:26	どうやって、
2:29:30	大日どれでもええと最新活動時期が評価できるものと評価を考えている問題ないんですっていう主張されているのかってのはやっぱりよくわかんないんですけど。
2:29:48	あくまで評価上は敷地内の中にある断層だ、重要施設に影響を及ぼすか及ぼさないかという観点になるかと思しますので、そんな中の断層で、また敷地の中にも全然ないような断層まで評価する必要まであるんで。
2:30:03	というふうに考えてないんですが、
2:30:06	なぜ、先ほど申しましたようにつきの外にあって、どこになるかもよくわかんないような断層の話まで持ってこなきゃいけないのかっていうのがわかりません。
2:30:15	うん、だからそう説明されるのであれば敷地内のH級で調べられるものは全部同じような形で全部調べてあって、こういう高校だから説明これだけのデータで知見の中だけでいいんですっていう説明をされるんだったらいいんだけど。
2:30:31	どうもさっき一番最初に議論したようにデータが全部耳そろえてあるような状況でもない中で、
2:30:37	何か代表的なものでいいんですみたいな話でH系は全部同じような評価ができるんですっていう話をしているのであれば、じゃあ何で同じような形でもって同じようなそういう整理できたと言われてるものを考えなくていいのかと言われてたときに答えが

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:54	皆さん言ってることは何かちょっと考えなきゃいけないんですかって、じゃあなんで中だけ考えるんですかってことはちょっと答えられないような気がするんですけど。
2:31:11	この中部電力の森本です。データの
2:31:16	一覧表で整理しているだとかですね、18 断層の扱い。
2:31:20	については
2:31:22	御指摘いただいたように整理して示させていただきますが、評価にあたって断層系が一体できてそのあとも、個別には動いてないので、全部外した時期は一緒に、そのうちの一つで止めると。
2:31:37	いうその評価に使うにあたって必要なデータというのは、今回すべてお出ししております。ちょっとその辺が見えてない部分もあるかとは思いますが、そのまますっかり見えるようにはしたいと思いますが、その上ですね
2:31:56	ちょっとその敷地の
2:31:58	外までそこボールの中に入れて整理する。
2:32:02	いうところは、少しせえっとしては、
2:32:07	違うんじゃないかなというふうに考えてます。
2:32:15	規制庁ナイトウですけれどもや皆さんが敷地の外のやつは考えなくていいっていうんだったら考えなくていいのはなんでこういった考えなくていいですという、敷地内で認められているH系だけを整理すればいいんですっていうところの考え方は何なんですか。
2:32:36	概ねその敷地の地質地質構造ということで、図 3 このネット上に限ってはですね主には 30 断層直上に重要施設が立地している断層を対象に、
2:32:52	活動性の評価をご審議いただくバーツというふうな認識でおりますので、
2:32:58	その敷地から離れたところ、溶断想定位置付けではもう周辺地質のほうでやってる話。
2:33:05	というふうに我々認識しております、
2:33:08	今のCのところは残っているというコメントがありましたけれども、
2:33:13	御前崎も含めて、よく良く似た断層持ってくるというのは、
2:33:18	ちょっと、
2:33:21	輸送かみ合っていないかなと思うんですが、
2:33:25	規制庁ナイトウですけど、皆さんかつ低成因は一緒だからこれで評価できるんです、として言っていた話が 1001 緒だけれどもそれは考えなくていいですっていうところの論理構成が全然まだできてないんじゃないんですかって言うんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:33:50	中部電力タケヤマです。ちょっと古い起伏なのであれですけど、もともと4冒頭で今でいう上地球のところのT-11棟については、
2:34:04	ある意味類似で上載地層だということで御説明してと思いますけれど、周辺の方のところは、参考的というかですね、現地調査を含めて鬼多様なものがあってこうですっていうことは、
2:34:20	見ていただいたというふうには思い協力してますけれど、それをもって活動性の評価をしての決定だとかですねそれをもって判断をいただいているわけではないというふうに理解してますけれど、
2:34:41	そのたくてもできて偶然あのあの委員長のそばの露頭で見てるのものがあってそこにあったものですから、膨縮いたらあれですけど、参考として見ていただいたという位置付けだと思ってます。
2:35:00	規制庁ナイトウですけど、いや、だから外のやつもいい評価に含めると言ってるわけではなくって、
2:35:08	キッツ内のものだけを
2:35:10	見ればいいんです。
2:35:13	十分1地形としての部分で杭1E評価ができるんですけどっていうところはもうちょっとしっかり
2:35:24	論理構成してねって言ってるんですけど。
2:35:32	中部電力の森本です。ちょっとあの議論がかみ合っていないかなと思ひまして我々としてはその敷地内の重要構造物の下に、
2:35:42	一番総計という端側があるので、それを評価するにあたって、
2:35:47	その京大の一つであるH系を使って評価しますという流れかなと思ってますが、今ナイトウさんがおっしゃってるのは何かそれを逆のような
2:36:01	今言った時かなっていう。
2:36:04	何か突然が違うのかなと思うんですが、
2:36:10	いかがでしょう。
2:36:12	規制庁なぜ出発点違うとこあそこの
2:36:17	ちょっと皆さんかつて1系統同じような断層は敷地のところのニシカワないわけではなくてほかにもあります。
2:36:27	と言ってるわけですよそれ違うんですか。
2:36:32	中部電力のタケヤマです少し茶の混乱してるかなと思ひますけれど、もともと多いなどさんがおっしゃってるところは今回指定を評価でして、我々というところを地球の
2:36:49	ちょっと前でT-11のところもないような状態のときに、当然名の評価としては指揮する中のH断層の性状等でこれは動かないよねっていうところを認めてい

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ただいていたんですけれども、おそばにいたようなものがあつたところで見えていたと。
2:37:07	その後およんごとの事業5ですねアタックチェックとかバックチェック時ぐらいにT-11H級のところでより近いところより
2:37:18	な関係性が明確にできる場所があつたもんですから、その当時からは、見ていただいているのは、
2:37:25	いろいろ機器ができてから8-11ですし、逆に今回の日不要なところも厳密には敷地外、要は、
2:37:33	引きてるのかなっていう議論中で見てくところより良い明確でより良いしっかりしたものが出てくるもんですから、それはDの私達は19のところは敷地外ですので敷地が山まで延長したところで、
2:37:49	明確な根拠で示していただいているというふうに理解してます。
2:37:55	規制庁ナイトウですけど皆さんH級で評価ができると決めつけているんだけど、H級で評価ができるかどうかわからないからちゃんと説明しろというのを我々、今、そのつもりで、昔みたいところで比べると、より良い前による関係つけるところがあるので、
2:38:12	ちょっとのところの大間3号4号の当時でやってたものと関係づけられないんですかっていうところに対しては、
2:38:19	今、BF4だとかそういうところが出てますので、そこんところのほうでできると。逆にそこについての代表性のところまでは今、まさにこの場で審議をいただいていると理解してます。
2:38:33	規制庁のえつとですね。だからこの後者の中のH系だけを評価の対象にすればいいんですっていうところの論理構成をもうちょっとしっかり主張してもらえませんかと言ってんだけど。
2:38:48	中田でございます。H級だけでという話好き中だけでという論理構成以前にたります敷地の外に行つて断層系と同じような断層があつたとしても、敷地の周辺っていうのはもう5万、8万年の堆積物のDF
2:39:05	何かきちんとこの通りBF4とこの表ですね、基本的にそんな古い堆積物があるところはないんですよ。だから、なんか前からやられたH36H01っていうところも御前崎礫層の8万年の段丘面ですか評価ができないもんですから、
2:39:22	仮にあつたとしても、H断層系の評価に全く役に立つようなものっていうのはまずないという理解です。すいません、評価をできるようなものがあるかないかという話ではなくって、地形というものについては敷地の中だけではなくて、
2:39:39	御前崎あの周辺にいろいろ同じようなものがあるっていうのはもう皆さん認められている中で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:39:45	敷地のH系を評価する願っては、今地球断層も含めて、この会社の中のものだけできちんと評価をすればいいんですっていうところ論理構成をもうちょっとしっかりしてねって言うてるんだけど。
2:39:59	個別に聞いているほかのところの評価をしに行けと言ってるわけじゃなくてや説明できないと私に言ってもらうけれども、
2:40:06	ここのH系と言われているものを対象にすれば、活動時期はきちんと
2:40:13	どれでも評価できるんですっていうことの論理構成をもうちょっとしっかりしてねって言うてるんですけど。
2:40:21	ツエ電力のナカガワです。
2:40:26	御趣旨は、私としては何となく理解したんですけども、もう1回確認ですけど、例えば、H断層系が分布しているのがある向斜軸の範囲の中だとすればその中で、敷地そのものではないけどそれより少し広い
2:40:43	ところの校舎の中での範囲だとすれば、そのエリアをカバーするのが1だと先ほど出てた36日①みたいなものはその範囲を外に出てるからそれはHとは、ある意味別物だからそれは別ですよって言うふうな形の認識をして、
2:41:01	Hだけをやればいいって言うそういうご出資ですか。
2:41:06	基準とか、そういう認識をすればいいんです。なぜならこうですって言う説明がちゃんとできるようにしてねって言うてるんだけど。
2:41:14	はい、わかりました。ごめんなさい、地質ラインいいですか。
2:41:26	今認識としては、地質ラインの方も認識をしましたので、よろしく願います。
2:41:33	。
2:41:41	規制庁のですか。あと5名国会点でね、cpmの
2:41:47	数字とかが、
2:41:49	読めなかつ足MPかナンバーが読めなかつたりとかするから
2:41:53	全部見れるようにする必要はないんですけど大きくしてるところとかは読めるようにしといてください。どこが交差してるのかっていうのが今の書面だったら全然わからないので、多分一番大きくして58ページだと思うんだけど、58ページもこれ、
2:42:08	CDPナンバーが
2:42:10	もともとコピーして持ってきた貼り付けたからすぐれちゃって読めなかつたりとかしているんで、そういうところはよく注意してください。
2:42:24	はい、森本です。すべて確認して修正させていただきます。
2:42:40	規制庁の菅谷です。
2:42:42	本日はこれにて終了としたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:42:49	中部電力アマノです。ええと承知しましてはちょっと画面を再度映して終わって いただいてよろしいでしょうか。
2:42:58	もしも中部電力タケヤマですけど、
2:43:02	審査会合で、
2:43:05	ナカガワの方が発言したのトップやについては明日、19日、モリさんの方と面 談をさせていただくことにイソダからオープンだからオッケーです。ただしするこ とになっておりますのでご報告ですとか、
2:43:26	はい、議長世界です。はい、承知しました。
2:43:30	ではこれでヒアリングのほう終了したいと思います。
2:43:34	使うかと思えます。
2:43:36	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。